

共通事項

(1) 本仕上りの表記

① 項目は、○印の付いたものを適用する。

② 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

③ 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

④ 記載の(○-○○-○)内の数字は建築工事標準詳細図(令和4年版)の詳細番号を示す。

⑤ 略号は下表による。

床

RC ()

コンクリート打設し(埋め)

SOP

合成樹脂加硫セメント塗り

CB ()

コンクリートブロック積み

EP

合成樹脂加硫セリジョンペイント塗り

TS

硬質ビニルシート

EP-T

合成樹脂セリジョンペイント吸着塗料塗り

KT

コンポジションビニル床タイル

EP-G

つや有合成樹脂加硫セリジョンペイント塗り

KT(E)

硬質塩化コンポジションビニル床タイル

NAD

アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り

FT

吸着ビニル床タイル

DP

耐候性塗料塗り

FOA

置敷きビニル床タイル

WP

木材保護塗料塗り

FOB

滑り止置敷きビニル床タイル

CL

クリヤラッカー塗り

VB

ビニル板

UC

ウレタン樹脂ニス塗り

WB

木製板

OS

オイルティン塗り

GB-R

セッコウボード

S-PR

セッコウプラスチック塗り

GB-NC

不燃焼断セッコウボード

D-PR

ドロマイプラスチック塗り

(化粧無し、下地張り用)

GB-NC(T)

不燃焼断セッコウボード

(化粧有り、トラバーチン模様)

GB-D

化粧セッコウボード

GB-S

シェンクセッコウボード

GB-F

強化セッコウボード

ケイカル板

けい酸カルシウム板 (3F7)

ケイカル板(P)

吸音用吸音きれ織り織りけい酸カルシウム板

DR

ロックウール化粧巻板 (7F11F7)

DR(凹凸)

ロックウール化粧巻板 (凹凸7F7)

DR(軒天)

ロックウール化粧巻板

(軒天井用、7F11F7)

DR(軒天凹凸)

ロックウール化粧巻板

(軒天井用、凹凸7F7)

PRF

押出法ポリスチレンフォーム断熱材

RW-B

ロックウールガラスクロス巻り

GB-B

グラスウールガラスクロス巻り

壁・柱

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

種別

厚さ(mm)

備考

GB-R

12.5

装壁仕上げ及び、壁張りの場合は縦目地幅 (2-03-6又は7)(2-03-10又は11) だし、仕上げ等行わない場合は突き付け (2-03-9)(2-03-13)とする。
(二重張りでは特記無き限り下張りは上張りと同様のボードとする。)

ケイカル板

8

突き付け (V目地) (2-03-17; 下地張りとは ○GB-S・ケイカル板)
(2-03-12; 下地張りとは ○GB-S・ケイカル板)

天井

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上り種別

厚さ(mm)

詳細番号

DR(フラットタイプ)

・9

○12

○(3-01-4)

DR(凹凸タイプ)

・12

・15

・(3-01-4)

ケイカル板

○6

○(3-01-2)

GB-NC(T)

○9.5

○(3-01-2)

RW又はGW張り

○25

○(3-01-12)

内部詳細

(1) 軽量鉄骨天井下地は (3-21-1,2)(3-21-3)(3-41-1,2)(3-41-2)とする。

(2) 押入れ (6-46-1)の天井は 厚さ 12.5mm連続し突き付けとする。

(3) 壁・天井の取合いは天井付き巻目地 (3-11-3,4,7,8) ※巻目地見切縁 とする。

(4) (B)の張り厚は ② GB-R、R12.5mm・GB-NC、5mmとする。

(5) GB-NC(T)の大きさとは ※910・45mm・910・910mmとする。

(6) 装壁仕上げ及び壁張りの場合はGB-R厚さ 12.5mm (縦目地幅) とする。

(7) 外部のDR(軒天)の下地厚さはGB-S厚さ 12.5mmとする。

種別

※PRF張りのみ

・現場発泡断熱材とする。

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

窓

室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	内装制 壁 (法的)	天井 下地	仕上 天井	内装制 天井 (法的)	天井高 (mm)	排煙区画区 分及び告示	備考
1FL													
DS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	-	-	直天	令126条の2 第1項第3号	
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S VB	C	S	モルタル塗りの上EP S 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2 第1項第3号	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	-	-	不燃	直天	へ2	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S VB	S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
エントランスホール	C	磁器質タイル	C-S スチール幅木	C-S	GB-R・天然木化粧リブパネル	不燃	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2700 一歩 3050	自然排煙(A)	
事務室1-1	FA1	タイルカーペット	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2700	自然排煙	
事務室1-2	FA1	タイルカーペット	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2700	自然排煙	スチールパーティション
事務室1-3	FA1	タイルカーペット	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2700	自然排煙	
共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	直天	へ2	
共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	直天	へ2	
共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ2	
女子便所	C	FS	C-S VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
庁務員室	FA1	タイルカーペット	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃	2400	へ5	
庁舎管理室	FA1	タイルカーペット	C-S VB	S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃	2400	へ5	
廊下	C	FS	C-S VB	C	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2300	自然排煙(A)	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C VB	C	RC(C)	不燃	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ1	
消火ポンプ/消火タンク室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C VB	C	RC(C)	不燃	不燃	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃	直天	へ2	
湯沸室	C	FS	C-S VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	流し台、フード、吊戸棚
男子便所	C	FS	C-S VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
給油口BOX	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S VB	C	S	モルタル塗りの上EP S 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	へ2	
警長室	FA1	タイルカーペット	C-S WB	C-S	S	二重張GB-Rの上壁紙	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2700	自然排煙	
車椅子使用者 用便所	C	FS	C-S VB	C-S	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2		
階段室A	C	FS	C-S VB	C	S	モルタル塗りの上EP S 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	
階段室B	C	FS	C-S VB	C	S	モルタル塗りの上EP S 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	
電算室	FA2	タイルカーペット	C-S VB	C-S	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2500	へ2	
風除室	C	磁器質タイル	C-S 磁器質タイル	C-S	磁器質タイル	不燃	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	3050	自然排煙(A)	

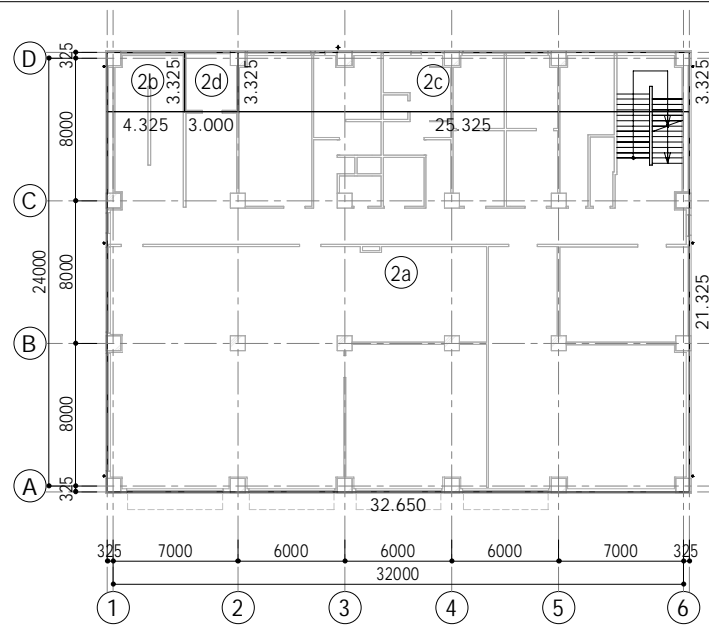
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-020
	仕上表-1	R5年版	4
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	内装制限 壁 (法的)	天井 下地	仕上 天井	内装制限 天井 (法的)	天井高 (mm)	排煙区画区 分及び告示	備考
2FL													
DS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	-	-	直天	令126条の2 第1項第3号	
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2 第1項第3号	
EVホール	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(B)	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	-	-	不燃	直天	へ2	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
事務室2-1	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
会議室2-1	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
会議室2-2	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
会議室2-3	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
会議室2-4	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
会議室2-5	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ2	
共用会議室	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
女子休憩室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-NC(T)	不燃 (下地共)	2400	へ5	
女子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
女子更衣室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
廊下	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(B)	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ2	
漏洩室	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	流し台、フード、吊戸棚
男子休憩室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-NC(T)	不燃 (下地共)	2400	へ5	
男子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
男子更衣室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
耐火倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-NC(T)	準不燃	2700	へ1	
車椅子使用者 用便所	C	FS	C-S	VB	C-S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
階段室A	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	
階段室B	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	
3FL													
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2 第1項第3号	
EVホール	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(C)	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	-	-	不燃	直天	へ2	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
事務室3-1	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
事務室3-2	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
事務室3-3	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
事務室3-4	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
共用会議室	FA1	タイルカーベット	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
女子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
廊下	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(C)	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ2	
漏洩室	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	流し台、フード、吊戸棚
男子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
車椅子使用者 用便所	C	FS	C-S	VB	C-S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
階段室A	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	
階段室B	C	FS	C-S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号	

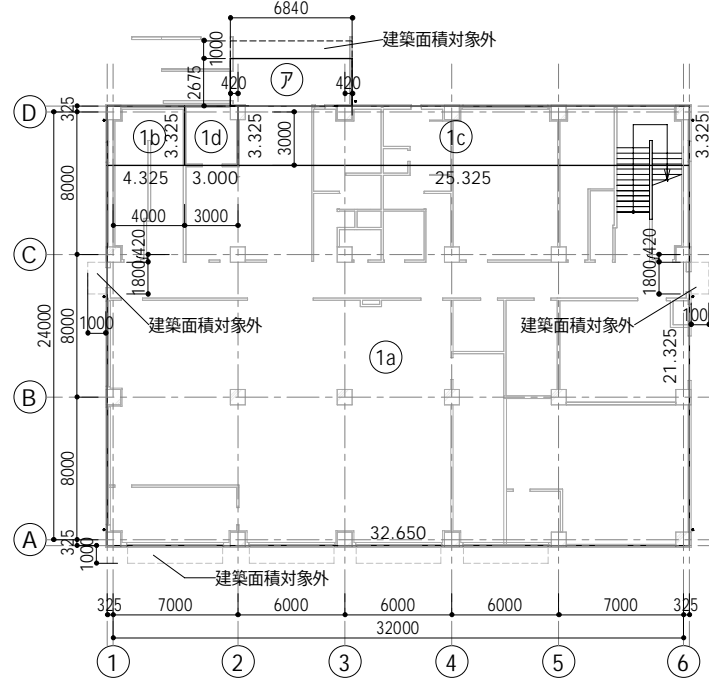
室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	内装制限 壁 (法的)	天井 下地	仕上 天井	内装制限 天井 (法的)	天井高 (mm)	排煙区画区 分及び告示	備考
4FL													
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2 第1項第3号
EVホール	C	FS	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(D)
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	-	-	不燃	直天	へ2	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
事務室 4-1	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
事務室 4-2	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
事務室 4-3	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
会議室 4-1	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
共用会議室1	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
共用会議室2	FA1	タイルカーベツト	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃 (下地共)	2700	へ5	
共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ2	
女子休憩室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-NC(T)	不燃 (下地共)	2400	へ5	
女子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
女子更衣室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
廊下	C	FS	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙(D)
支局長室	FA1	タイルカーベツト	C-S	WB	C-S	二重張GB-Rの上壁紙	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ2	
漏洩室	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	流し台、フード、吊戸棚
男子休憩室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	S	GB-NC(T)	不燃 (下地共)	2400	へ5	
男子便所	C	FS	C-S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
男子更衣室	C	FS	C-S	VB	C-S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ2	
車椅子使用者 用便所	C	FS	C-S	VB	C-S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ2	
階段室A	C	FS	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号
階段室B	C	FS	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	2300	令126条の2 第1項第3号

EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2 第1項第3号
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	-	-	不燃	直天	へ2	
倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2500	へ2
階段室B	C	FS	C-S	VB	C	S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	不燃 (下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃 (下地共)	直天	令126条の2 第1項第3号
電気室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C-S	-	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ2	

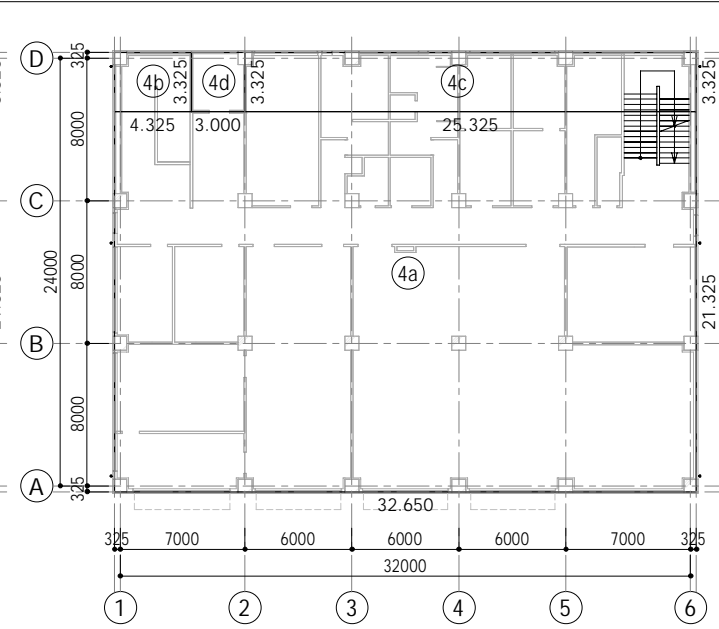
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-021
	仕上表-2	R5年版	5
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



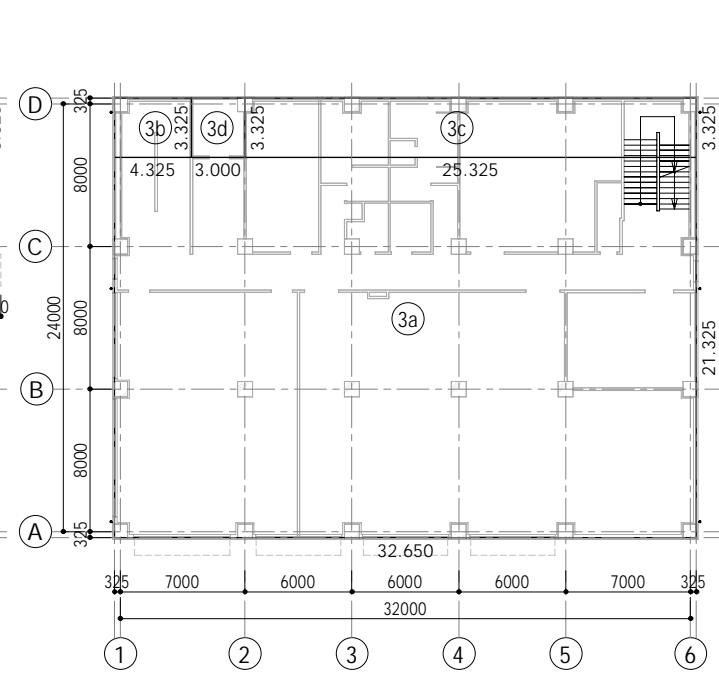
2 AIリア延床_2FL
S=1:300



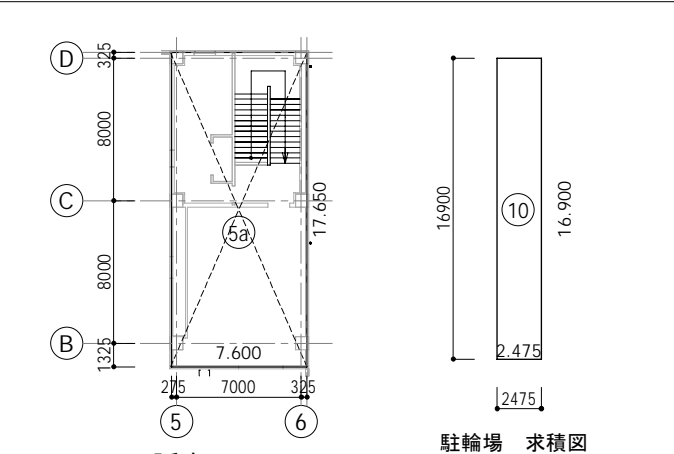
1 AIリア延床_1FL
S=1:300



4 AIリア延床_4FL
S=1:300



3 AIリア延床_3FL
S=1:300



5 AIリア延床_5FL
S=1:300

本体建物各階面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
5FL		
5a	7.600 × 17.650	134.140
		134.140
4FL		
4a	32.650 × 21.325	696.261
4b	4.325 × 3.325	14.380
4c	25.325 × 3.325	84.205
4d	3.000 × 3.325	9.975
		804.824
3FL		
3a	32.650 × 21.325	696.261
3b	4.325 × 3.325	14.380
3c	25.325 × 3.325	84.205
3d	3.000 × 3.325	9.975
		804.824
2FL		
2a	32.650 × 21.325	696.261
2b	4.325 × 3.325	14.380
2c	25.325 × 3.325	84.205
2d	3.000 × 3.325	9.975
		804.824
1FL		
1a	32.650 × 21.325	696.261
1b	4.325 × 3.325	14.380
1c	25.325 × 3.325	84.205
1d	3.000 × 3.325	9.975
		804.824
本体建物各階面積 計		3353.424

駐輪場面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
10	2.475 × 16.900	41.827
駐輪場面積 計		41.827

容積対象外床面積 求積表

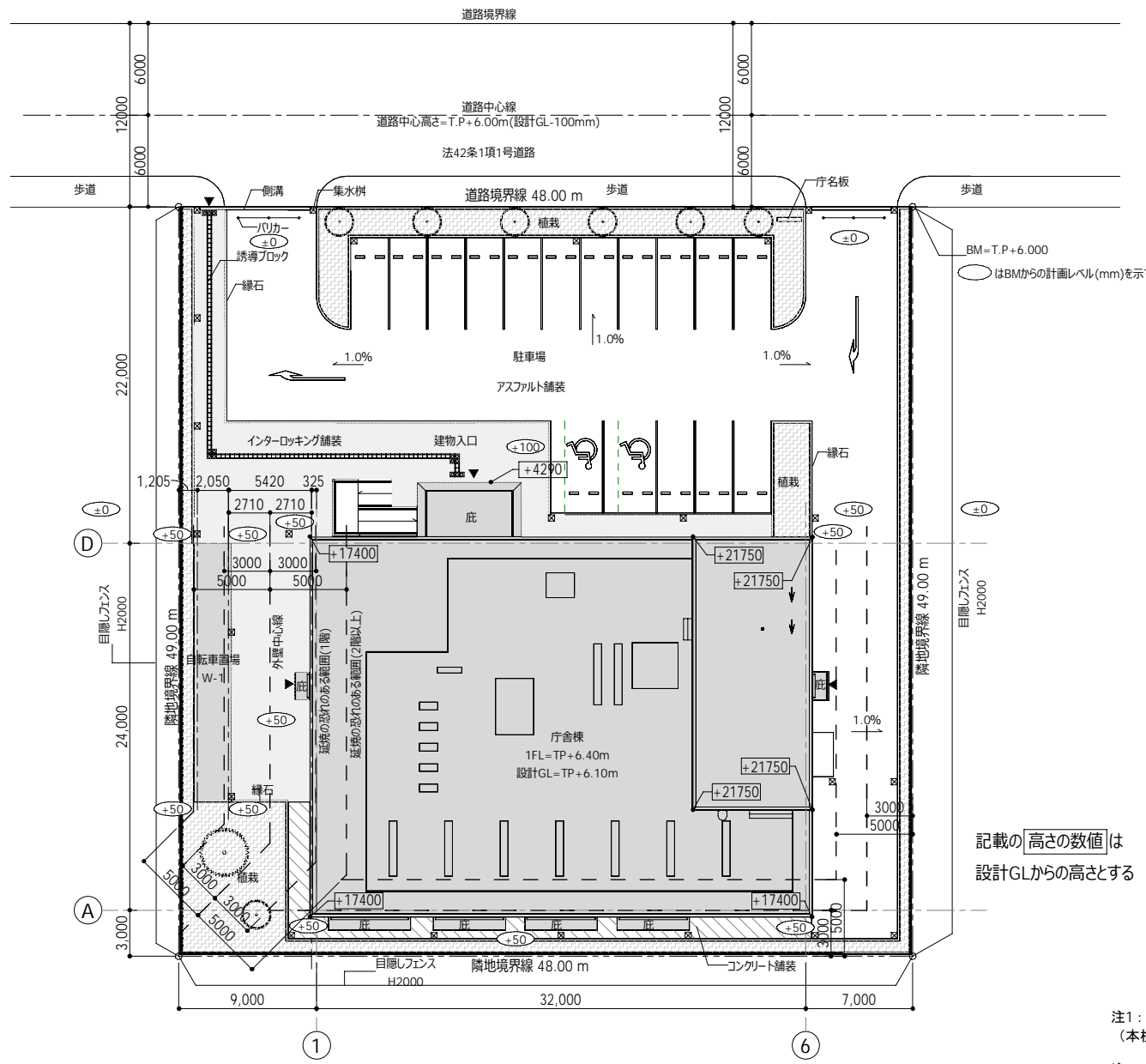
番号	根拠式	計算面積
1d	3.000 × 3.325	9.975
2d	3.000 × 3.325	9.975
3d	3.000 × 3.325	9.975
4d	3.000 × 3.325	9.975
容積対象外面積 計		39.88

本体建物底部分面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
ア	6.840 × 2.675	18.297
		18.297

建築基準法床面積				建築基準法建築面積				国有財産法床面積				国有財産法建築面積			
本体	延床面積	容積対象外面積	容積対象面積	本体	建築面積	延床面積	容積対象外面積	本体	延床面積	容積対象外面積	容積対象面積	本体	建築面積	延床面積	容積対象外面積
5FL	134.14	0	134.14	5FL	804.82	134.14	0	5FL	134.14	0	134.14	5FL	804.82	134.14	0
4FL	804.82	9.97	794.85	4FL	804.82	134.14	9.97	4FL	804.82	9.97	794.85	4FL	804.82	134.14	9.97
3FL	804.82	9.97	794.85	3FL	804.82	134.14	9.97	3FL	804.82	9.97	794.85	3FL	804.82	134.14	9.97
2FL	804.82	9.97	794.85	2FL	804.82	134.14	9.97	2FL	804.82	9.97	794.85	2FL	804.82	134.14	9.97
1FL	804.82	9.97	794.85	1FL	804.82	134.14	9.97	1FL	804.82	9.97	794.85	1FL	804.82	134.14	9.97
小計	3353.42	39.88	3313.54	小計	823.11	535.66	287.45	小計	3353.42	39.88	3313.54	小計	804.82	535.66	261.16
駐輪場	41.82	41.82	0.00	駐輪場	41.82	41.82	0.00	駐輪場	41.82	41.82	0.00	駐輪場	41.82	41.82	0.00
小計	41.82	41.82	0.00	小計	41.82	41.82	0.00	小計	41.82	41.82	0.00	小計	41.82	41.82	0.00
合計	3395.24	81.70	3313.54	合計	864.93	577.48	287.45	合計	3395.24	81.70	3313.54	合計	846.64	577.48	261.16

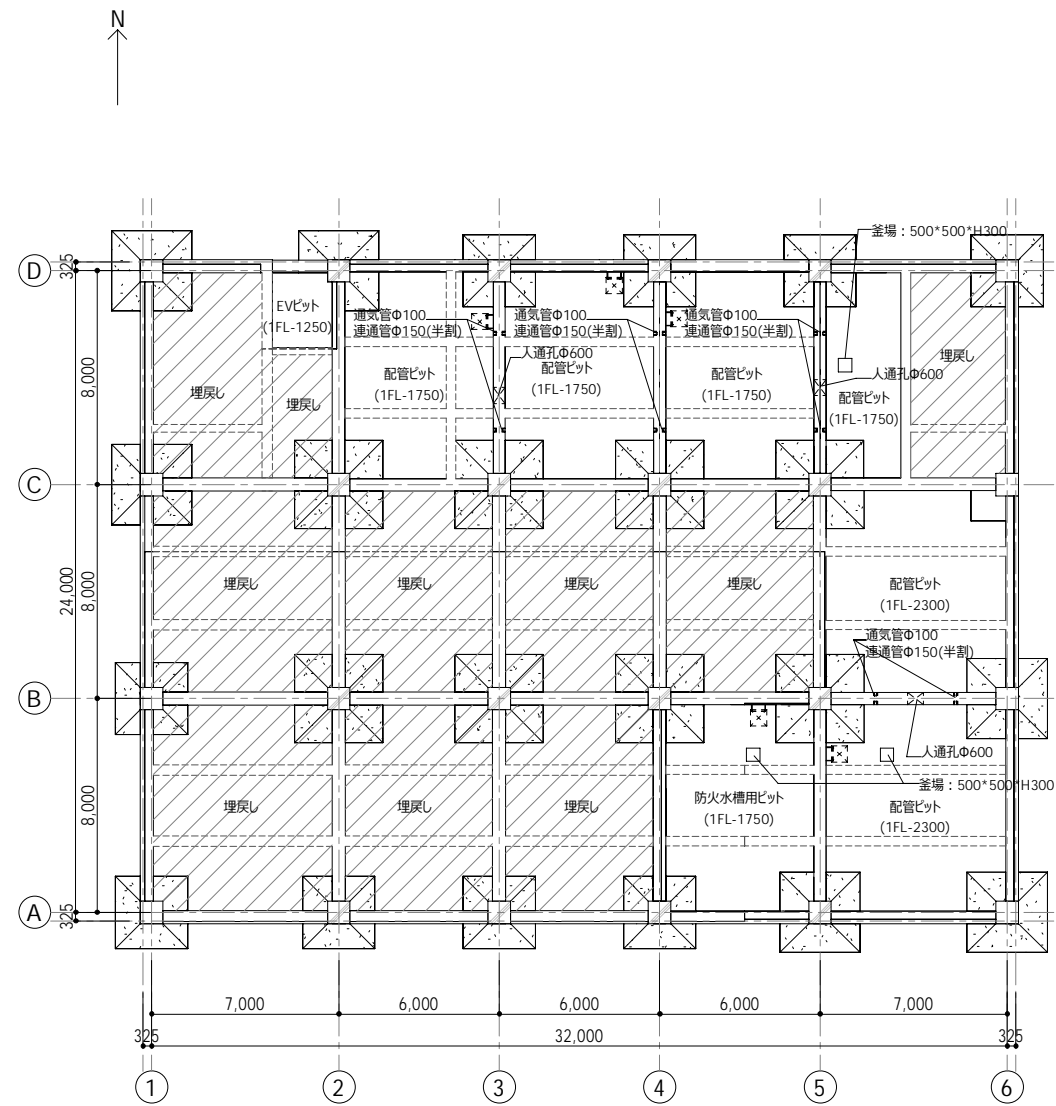
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事(R5年版)			A-031
	求積図	S-図面表記による(A3)	R5年版	6
	国土交通省大臣官房官庁営繕部			XXX



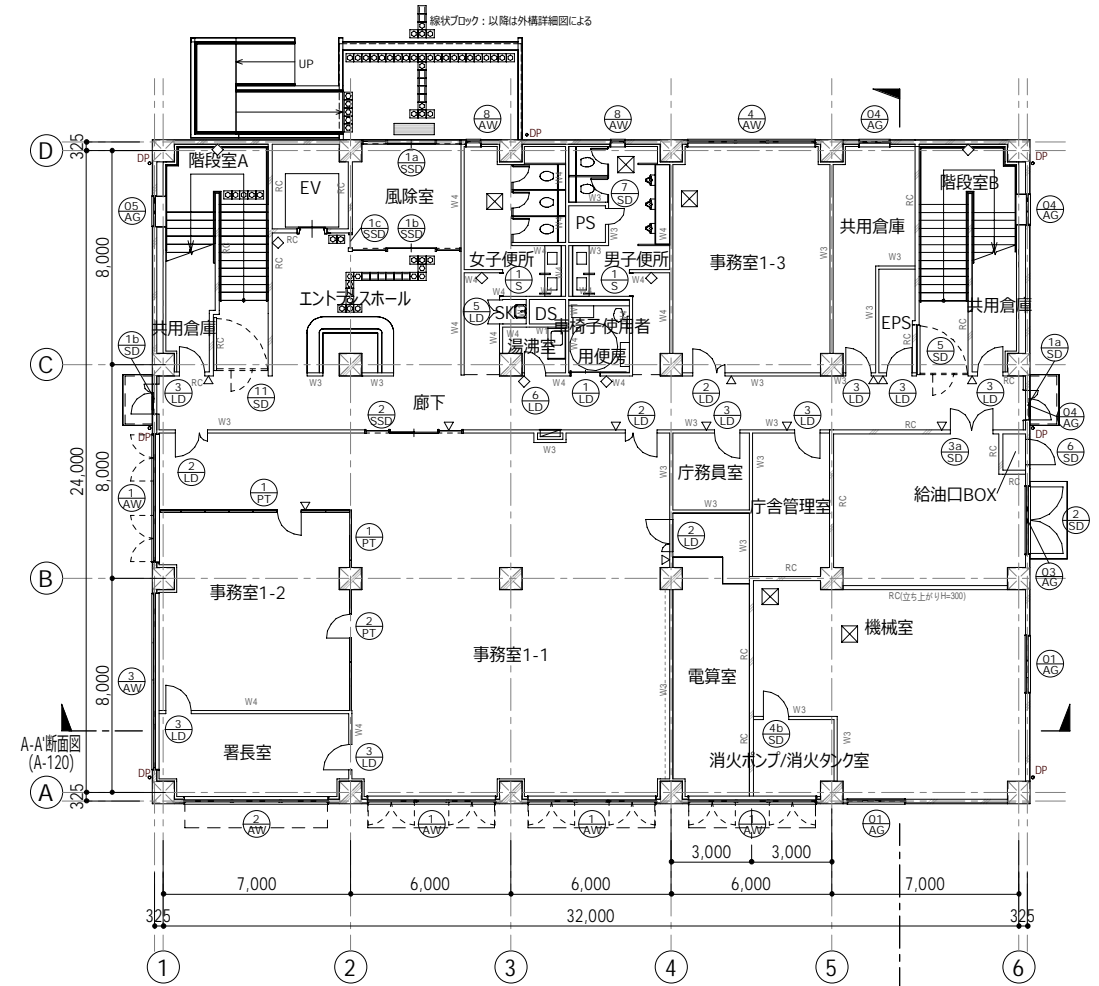
注1：現状地盤高は現況平面図による
(本検討においては作成対象外)

注2：各部寸法、排水経路、植栽仕様は外構詳細図による
(本検討においては作成対象外)

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-100
	配置図	S=1:300(A3) R5年版	7
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



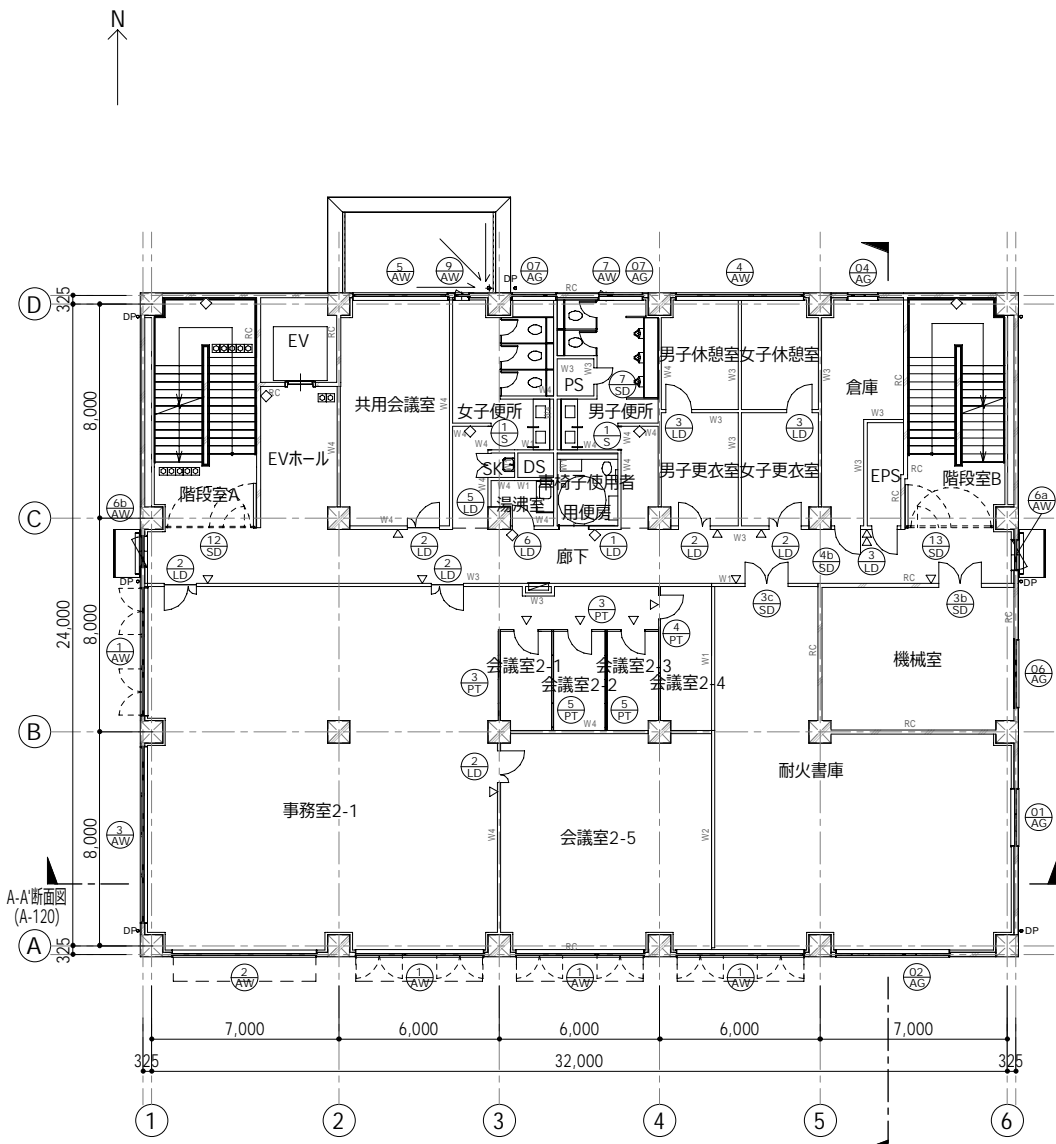
1 PIT階平面図
S = 1 : 200



2 1階平面図
S = 1 : 200

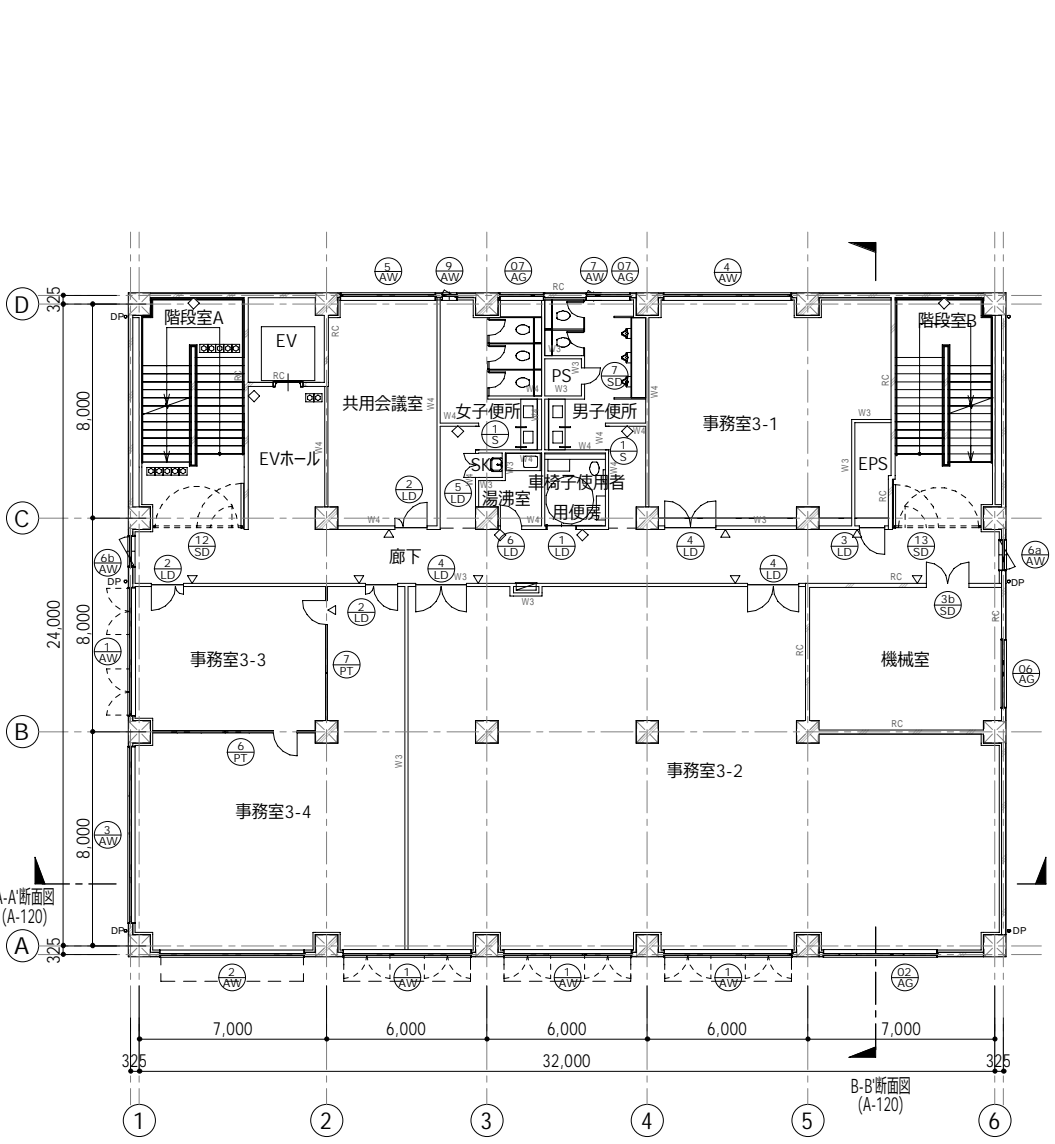
B-B断面図
(A-120)

凡例	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札 (8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	⊠	床点検口 600×600	(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)	A-101
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック等	⊠	ステンレス製タラップ W400 4段		ビット階・1階平面図 S=図面表記による(A3) R5年版	8
	W3	LGS + ボード 2枚張	PT	スチールパーティション	⊠	消火器ボックス	○	点状ブロック等					XXX
	W4	LGS + ボード 2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ・スチールはスラブ・天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ・スチールとする		⊕	ルーフドレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。						



1 2階平面図
S = 1 : 200

B-B'断面図 (A-120)



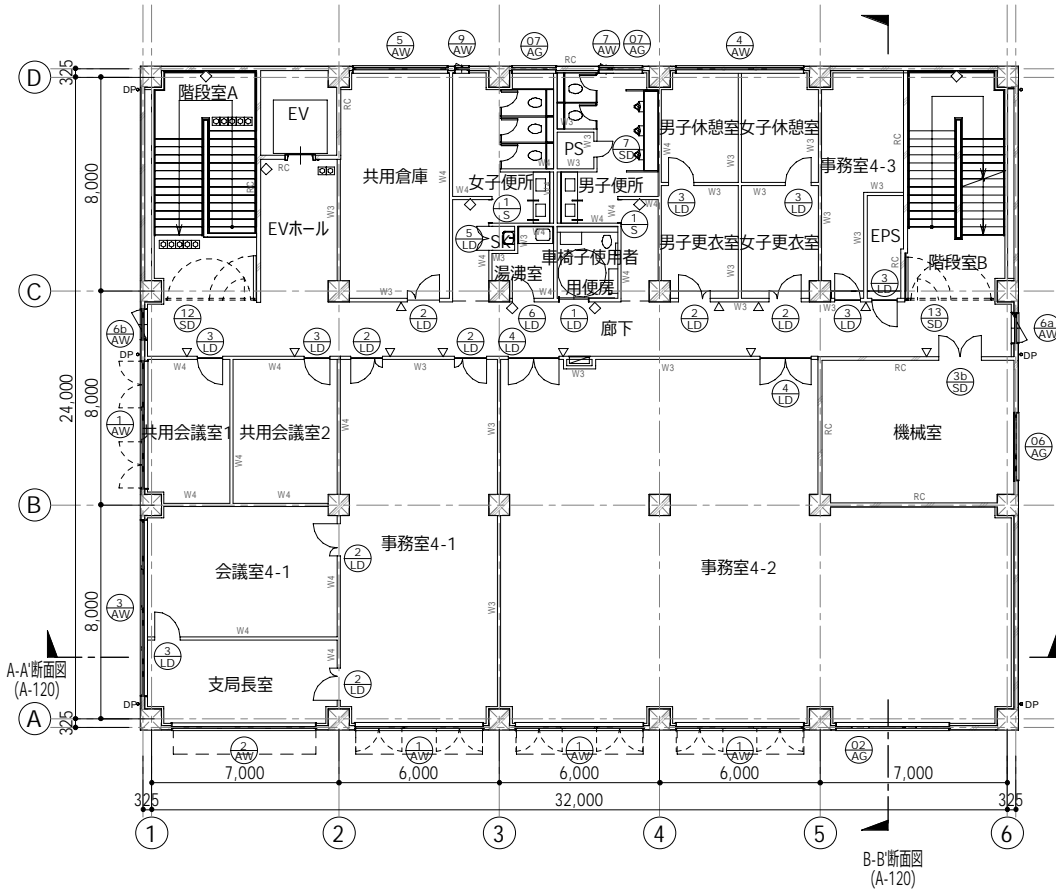
2 3階平面図
S = 1 : 200

B-B'断面図 (A-120)

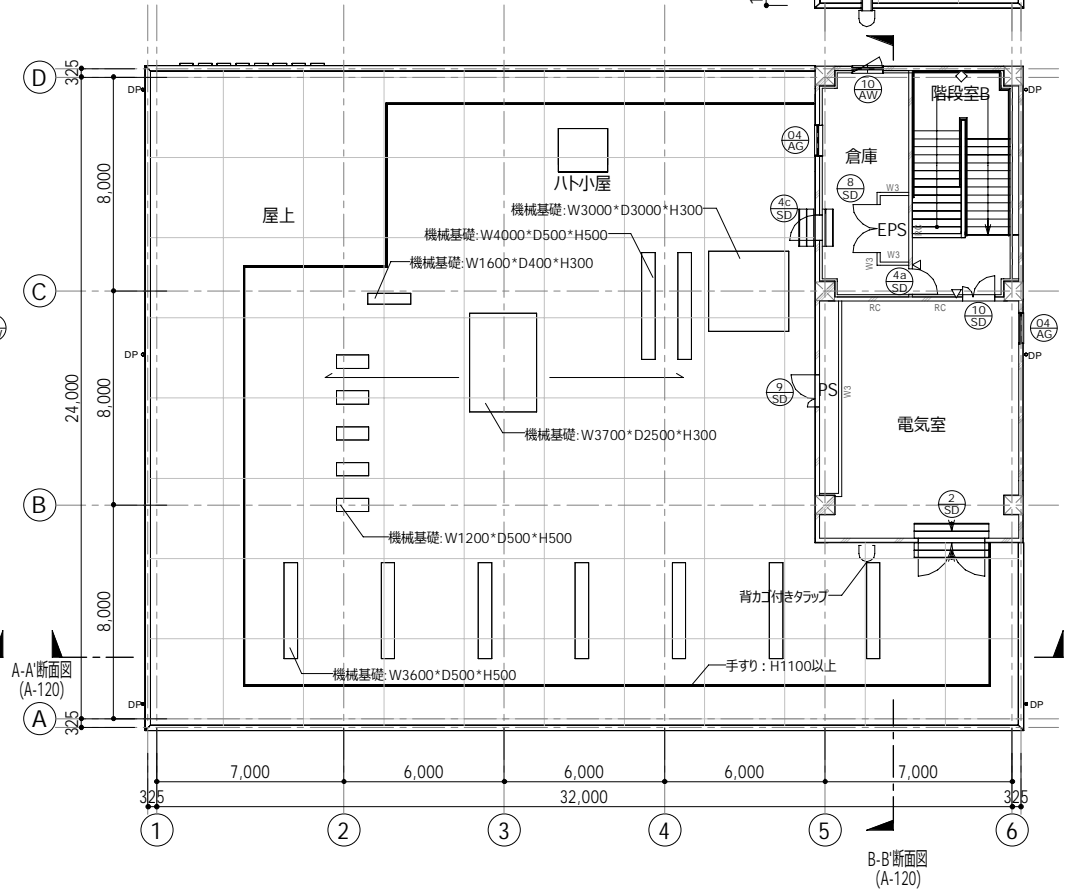
凡例	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札 (8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	⊠	床点検口 600×600	(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)	A-102
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック等	⊠	ステンレス製タラップ W400 4段		2階・3階平面図 S-図面表記による(A3) R5年版	9
	W3	LGS + ボード 2枚張	PT	スチールパーティション	⊠	消火器ボックス	○	点状ブロック等					XXX
	W4	LGS + ボード 2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ・スラブ、ボードはスラブ・天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ・スラブとする		⊕	ルーフドレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。						



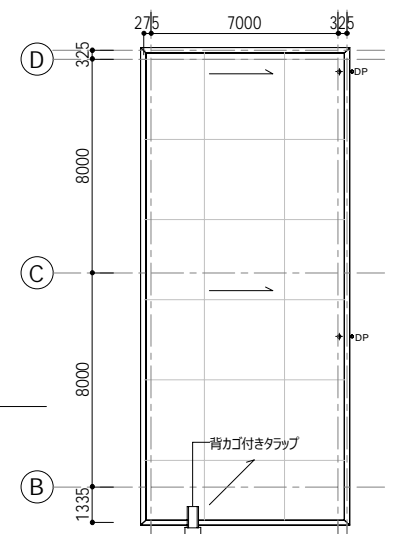
1 4階平面図
S = 1 : 200



















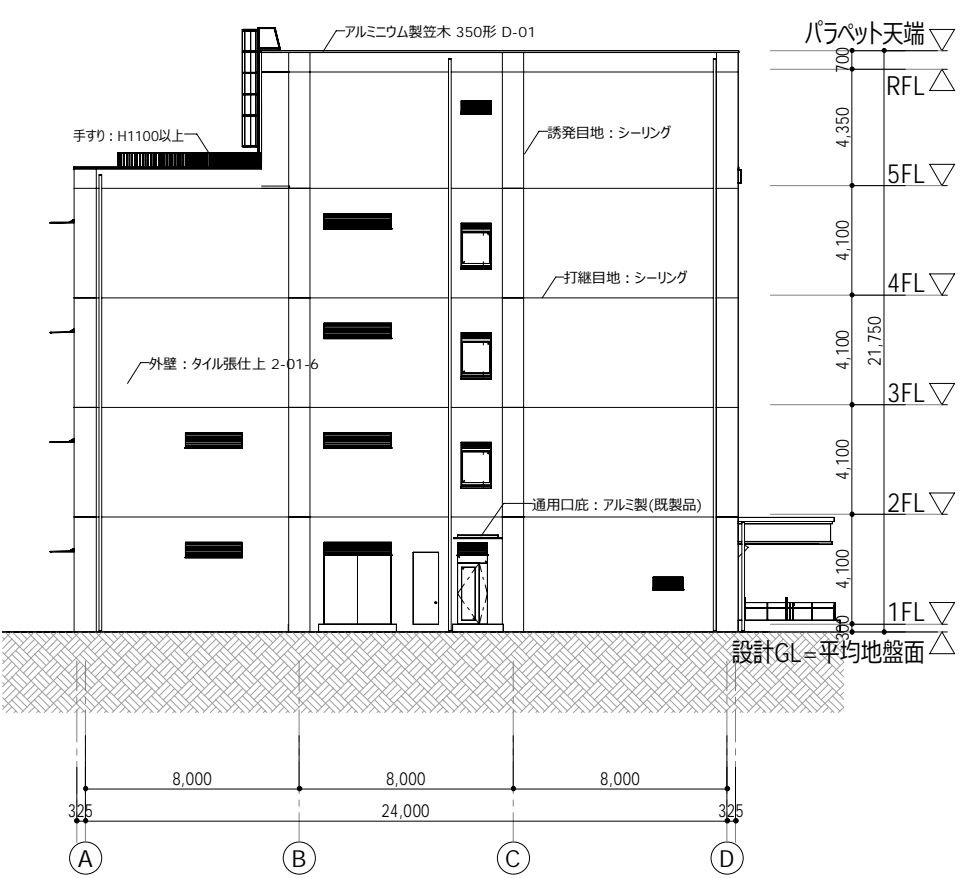
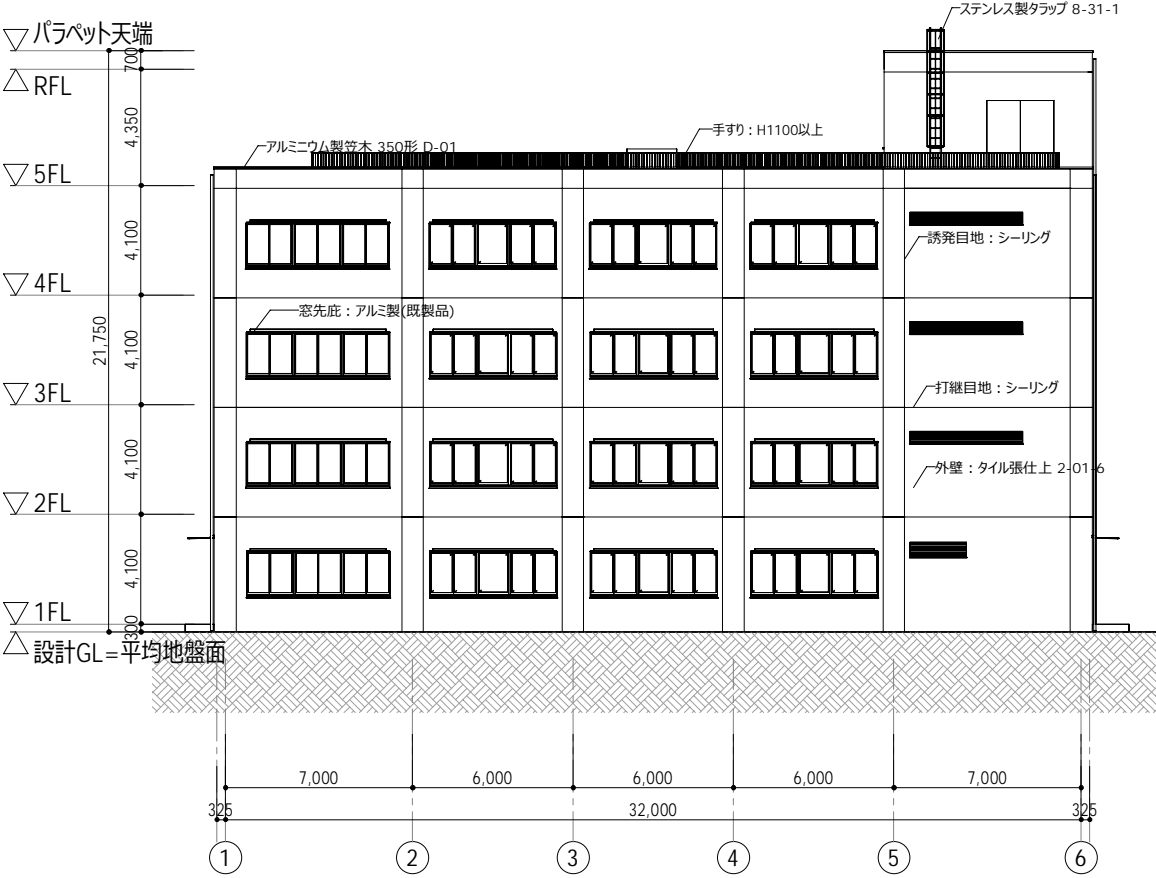
2 5階平面図
S = 1 : 200



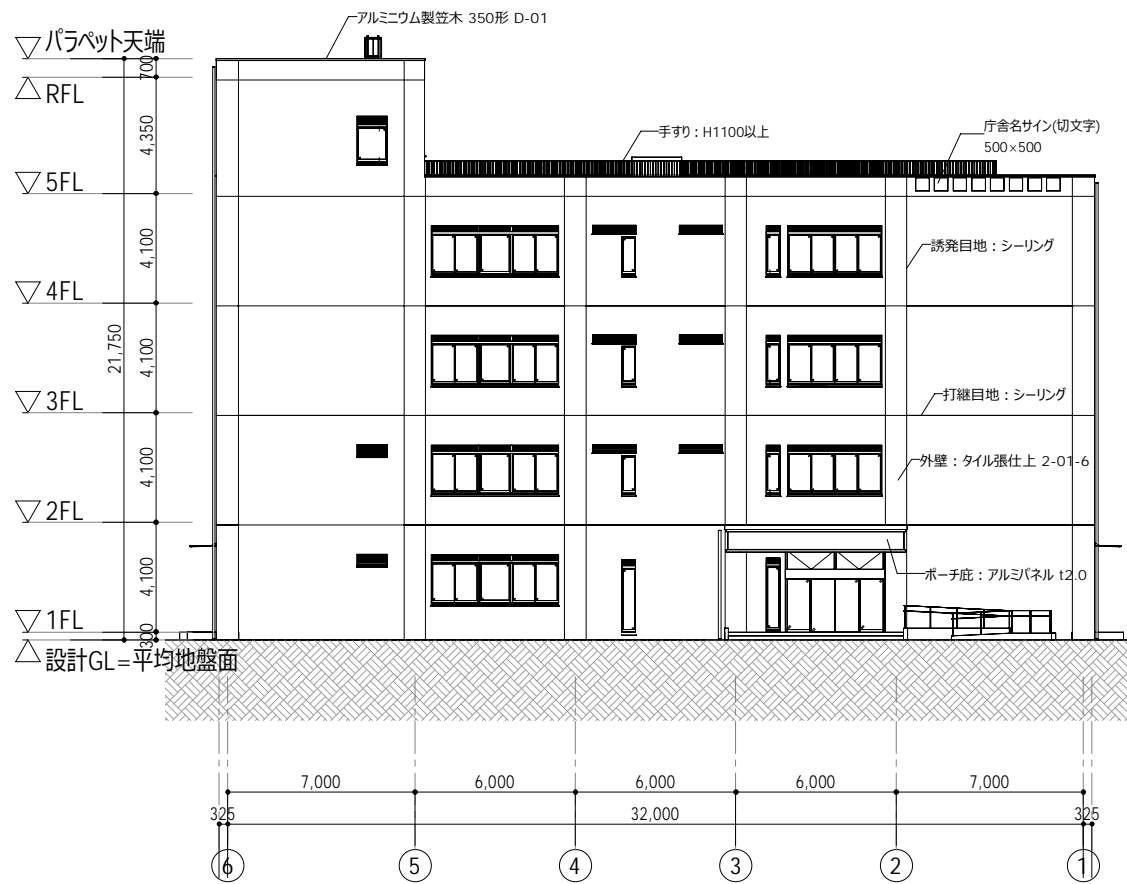
3 R階平面図
S = 1 : 200



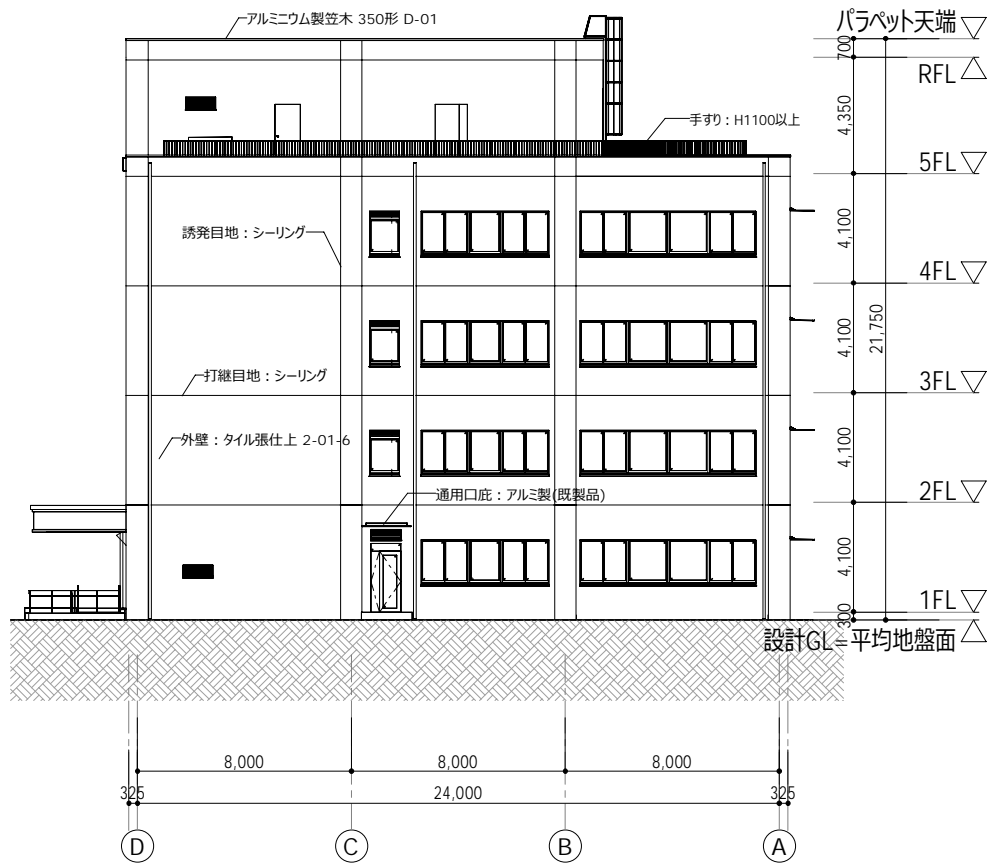
凡例		LGS壁乾式1時間耐火		GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)		室名札 (B-43-3)		たてどい Φ75		床点検口 600×600	(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)	A-103		
		LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)		RC		ピクトサイン		線状ブロック等		ステンレス製タラップ W400 4段				10	
		LGS + ボード 2枚張		スチールパーティション		消火器ボックス		点状ブロック等						XXX	
		LGS + ボード 2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ・スチール・ボードはスチール・天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスチール・スラブとする					ルーフトレ	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。						



(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)			A-110
	南・東立面図	S= 1 : 200(A3)	R5年版	11
	国土交通省大臣官房官庁営繕部			XXX

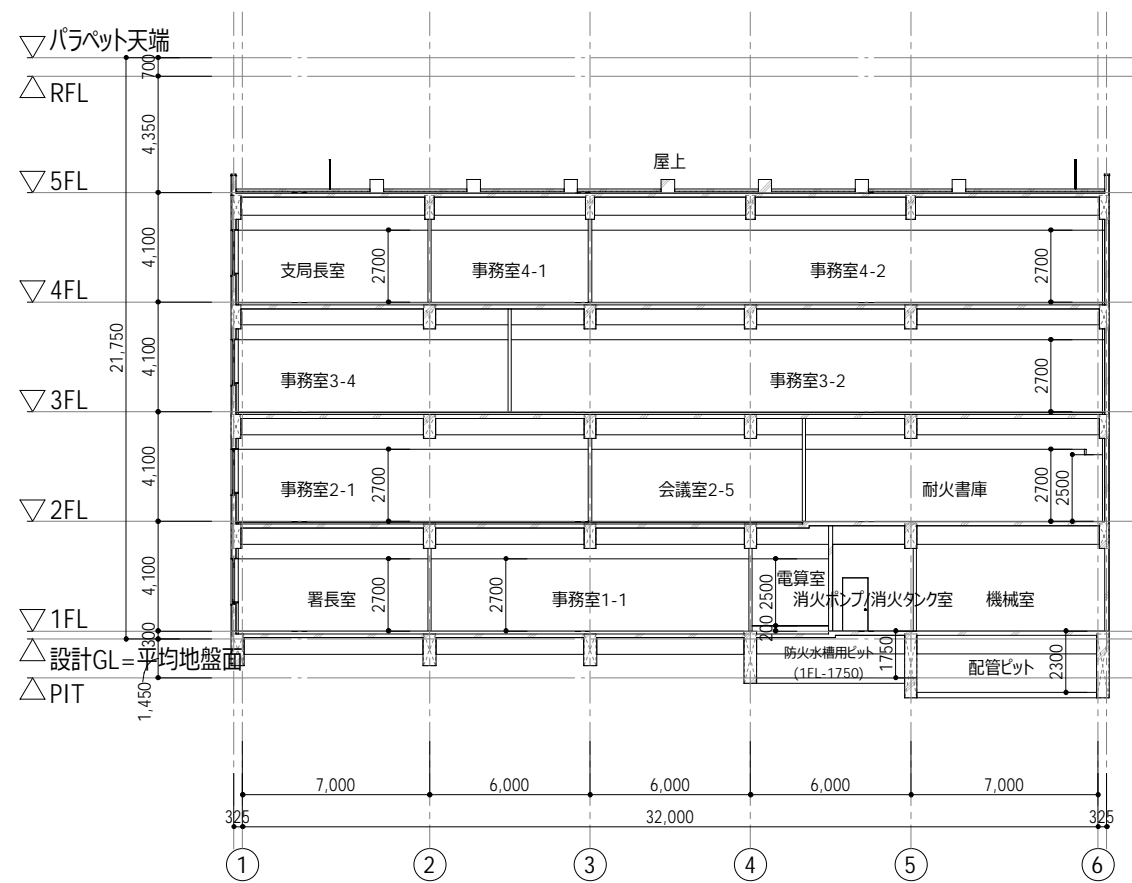


1 北立面図
S= 1 : 200

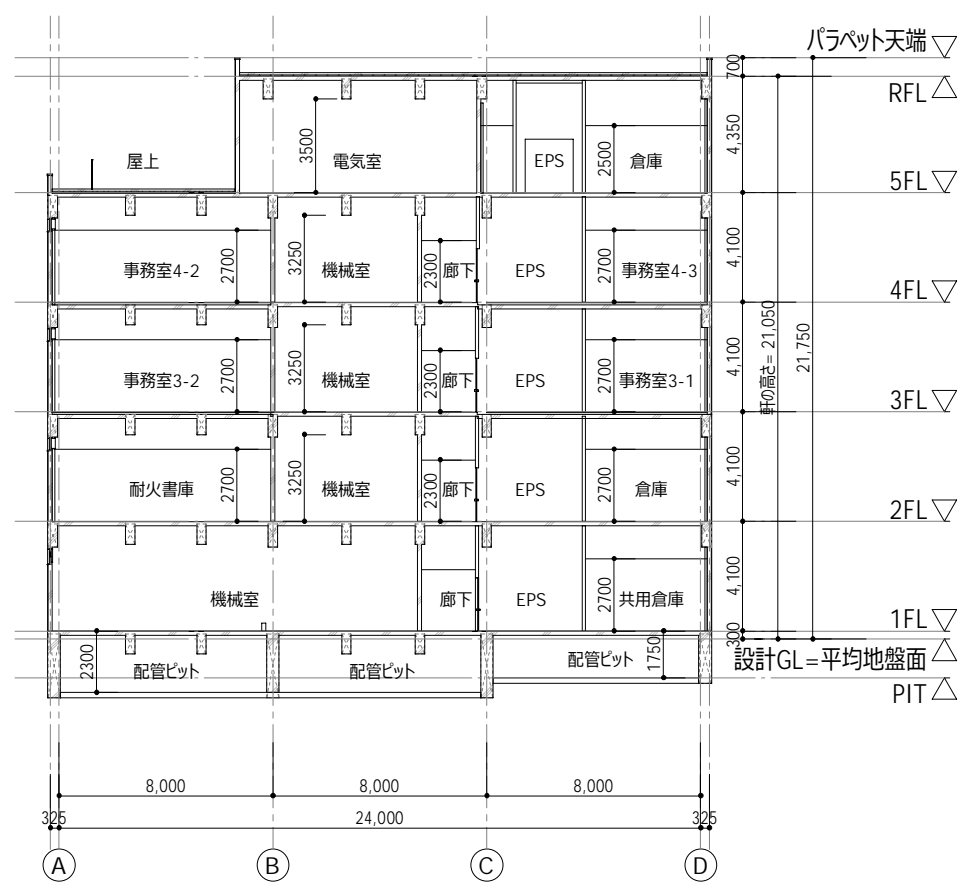


2 西立面図
S= 1 : 200

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事(R5年版)		A-111
	北・西立面図	S= 1 : 200(A3) R5年版	12
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



1 A-A'断面図
S= 1 : 200



2 B-B'断面図
S= 1 : 200

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事(R5年版)		A-120
	断面図	S= 1 : 200(A3) R5年版	13
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

共 通 事 項

建具枠・くつずり詳細図

表示略号	記載の (○-○-○) 内の数字は建築工事標準詳細図 (令和4年版) の詳細番号を示す。			
	略 号	建 具	略 号	ガ ラ ス
	AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス
	AW	アルミ製窓	F	型板ガラス
	AG	アルミ製がらり	NF	網入型板ガラス
	S	鋼製三方枠	WF	網入型板ガラス
	SD	鋼製戸	NP	網入遮き板ガラス
	SW	鋼製窓	WP	網入遮き板ガラス
	SG	鋼製がらり	HAF	熱線反射フロート板ガラス
	SS	重量シャッター	T ()	強化ガラス (材料板ガラス)
	LD	鋼製軽量戸	IG ()	複層ガラス (材料板ガラス)
	LS	軽量シャッター	HR ()	熱線反射ガラス (材料板ガラス)
	SSD	ステンレス製戸	DS ()	倍強度ガラス (材料板ガラス)
	SSW	ステンレス製窓	L ()	合わせガラス (材料板ガラス)
	SSG	ステンレス製がらり	Low-E	低放射ガラス
	QHD	オーバーヘッドドア		
	ACW	アルミ製カーテンウォール		
	PD	樹脂製戸		
	PW	樹脂製窓		
	H	ふすま		
	P	紙障子		
	MD	木製戸		

扉見込み寸法 (mm) の目安	鋼製戸 (SD) 及びステンレス製戸 (SSD)
	40: H-2, 400以下かつ扉一枚の幅=1,050以下 (4-47, 48-1の防火戸: H-2, 100の場合扉1枚の幅=1,300以下) 50: H-2, 400超2,700以下, 又は扉1枚の幅=1,050超1,400以下 (4-47, 48-1の防火戸: H-2, 40の場合扉1枚の幅=2,300以下, H-2, 400の場合扉1枚の幅=2,100以下) 60: H-2, 700超2,900以下, かつ扉1枚の幅=1,050超1,400以下 (4-47, 48-1の防火戸: H-3, 300の場合扉1枚の幅=3,600以下) 鋼製軽量戸 (LD) 36 (製造所によっては40) 木製戸 (MD) 30: H-1, 500未満, 扉1枚の幅=950以下 36: H-2, 500未満, 扉1枚の幅=950以下 40: H-2, 400未満, 扉一枚の幅=950以下

形 状	(1) 鋼製戸 (SD) のうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。 (2) 鋼製戸 (SD) 及び鋼製軽量戸 (LD) のドアガラスは、鋼板 1-1.2 (防火戸の場合 1-1.6 ダンパー付) とする。 (3) 特殊性能の適用は「備考」欄による。 (4) 特殊性能 (風気密、防音、断熱、耐震等) の建具の適用は「建具性能」欄、もしくは特記仕様書による。 (5) 水切りの幅は、「備考」欄による。
-----	--

仕 上 げ	(1) 特記以外の鉄鋼面は、合成樹脂塗合ペイント塗り SORF☆☆☆☆ とする。 (2) ふすまの上端りの種類は、「備考」欄による。
-------	---

建具金物	(1) ドアクローザーの適用は、建具表により、取付は原則として室内側とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は、壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3) クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は、床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の把手は、原則としてレバーハンドルとし、握り玉の適用は「建具金物」欄による。 (5) 扉の把手部の取付位置は、床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (6) 自動ドアのセンサーの適用は、「備考」欄による。 (7) 防犯建物部品は、「備考」欄による。 (8) 下表以外の建具金物は、「建具金物」欄による。ただし、既製建具は製造所の指定するものとする。																					
	<table> <tr> <th>一般部</th><th>丁番、 シリンダー錠錠 (片面サムターン)</th></tr> <tr> <td>自由開き戸</td><td>フロアヒンジ (片自由、ストップ付き)、シリンダー本線り錠 (片面サムターン)、 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度</td></tr> <tr> <td>自動ドア (35kg (約1.7))</td><td>引戸用本線り錠 (片面サムターン)</td></tr> <tr> <td>一般室</td><td>ビボットヒンジ、シリンダー錠錠 (片面サムターン)</td></tr> <tr> <td>通達室</td><td>ビボットヒンジ、錠なし</td></tr> <tr> <td>便所、洗面所</td><td>押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度</td></tr> <tr> <td>鋼製軽量自動装置付引戸</td><td>自動・制御装置 (ストップ付)、ステンレス製錠れ止め 表示装置、非常開錠装置、大型サムターン付き引戸錠 (ロッド式) 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度</td></tr> <tr> <td>臨時閉鎖式防火戸</td><td>ヒンジクローザー (ビボット型、ストップなし)、ケースハンドル錠</td></tr> <tr> <td>点検扉</td><td>軸吊りヒンジ、点検口錠</td></tr> <tr> <td>自由開き戸</td><td>押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度</td></tr> <tr> <td>窓</td><td>クレセント</td></tr> </table>	一般部	丁番、 シリンダー錠錠 (片面サムターン)	自由開き戸	フロアヒンジ (片自由、ストップ付き)、シリンダー本線り錠 (片面サムターン)、 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度	自動ドア (35kg (約1.7))	引戸用本線り錠 (片面サムターン)	一般室	ビボットヒンジ、シリンダー錠錠 (片面サムターン)	通達室	ビボットヒンジ、錠なし	便所、洗面所	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度	鋼製軽量自動装置付引戸	自動・制御装置 (ストップ付)、ステンレス製錠れ止め 表示装置、非常開錠装置、大型サムターン付き引戸錠 (ロッド式) 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度	臨時閉鎖式防火戸	ヒンジクローザー (ビボット型、ストップなし)、ケースハンドル錠	点検扉	軸吊りヒンジ、点検口錠	自由開き戸	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度	窓
一般部	丁番、 シリンダー錠錠 (片面サムターン)																					
自由開き戸	フロアヒンジ (片自由、ストップ付き)、シリンダー本線り錠 (片面サムターン)、 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度																					
自動ドア (35kg (約1.7))	引戸用本線り錠 (片面サムターン)																					
一般室	ビボットヒンジ、シリンダー錠錠 (片面サムターン)																					
通達室	ビボットヒンジ、錠なし																					
便所、洗面所	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度																					
鋼製軽量自動装置付引戸	自動・制御装置 (ストップ付)、ステンレス製錠れ止め 表示装置、非常開錠装置、大型サムターン付き引戸錠 (ロッド式) 押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度																					
臨時閉鎖式防火戸	ヒンジクローザー (ビボット型、ストップなし)、ケースハンドル錠																					
点検扉	軸吊りヒンジ、点検口錠																					
自由開き戸	押棒 (引手) (内外共) はステンレス押棒 (HL又はNo.26柱上) (L≧400) 程度																					
窓	クレセント																					

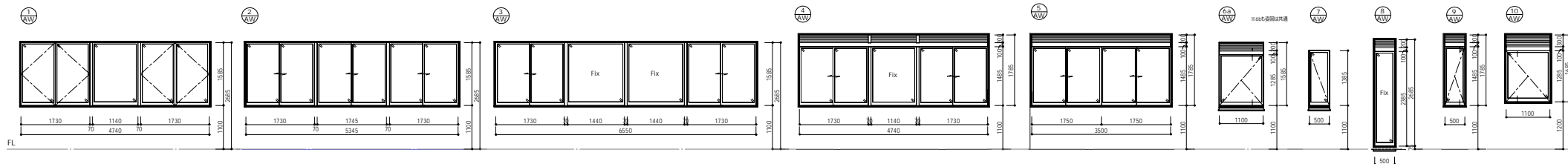
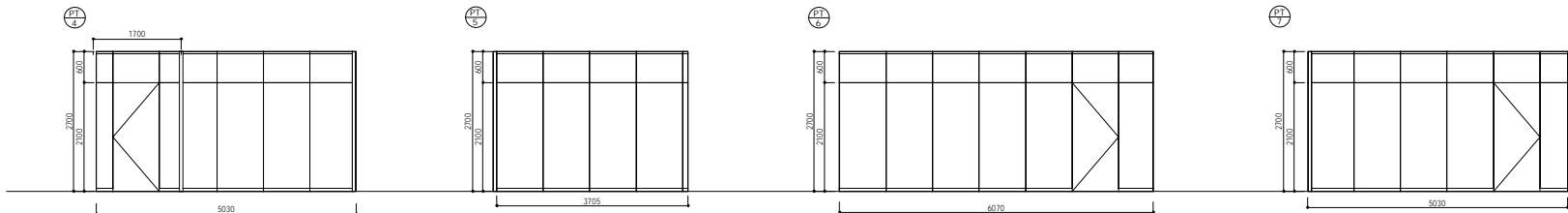
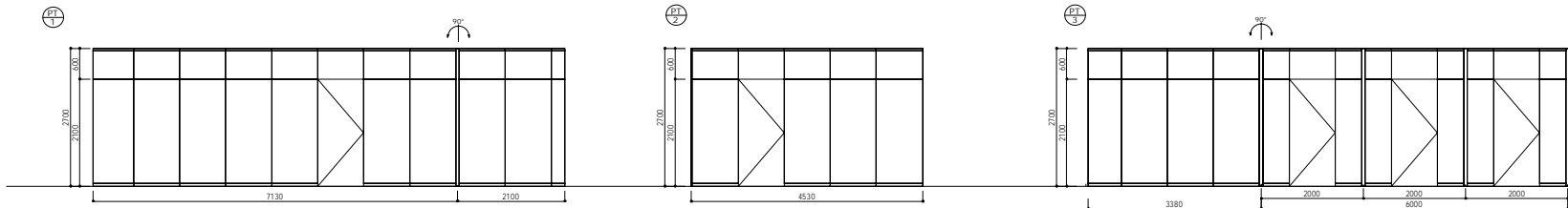
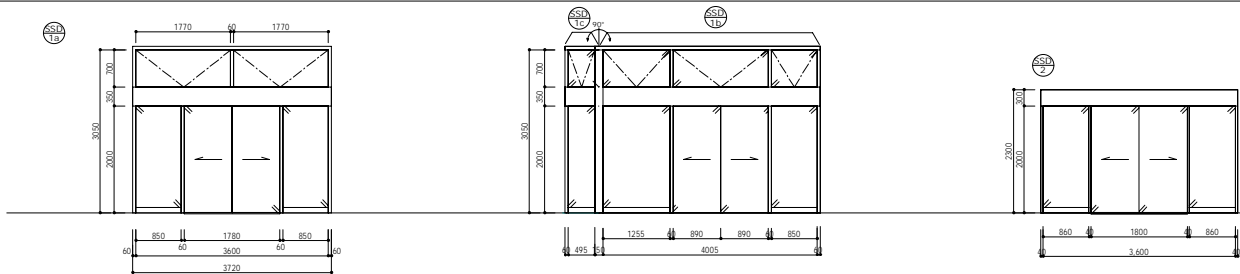
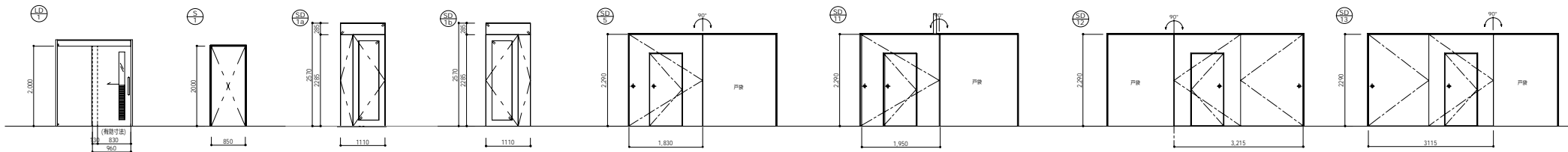
防火戸	(1) ヒューズ装置、熱感知器、煙感知器との連動は「備考」欄による。 (2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。					
	<table> <tr> <th>種類</th><th>性 能</th></tr> <tr> <td>特 定防火設備 (道交17条)</td><td>耐火建築物及び準耐火建築物 (以下「耐火建築物等」という) の各欄において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11層以上の各欄において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備</td></tr> <tr> <td>防 火設備 (道交20条)</td><td>耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11層以上の各欄において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物等に形成された壁穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備</td></tr> </table>	種類	性 能	特 定防火設備 (道交17条)	耐火建築物及び準耐火建築物 (以下「耐火建築物等」という) の各欄において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11層以上の各欄において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備	防 火設備 (道交20条)
種類	性 能					
特 定防火設備 (道交17条)	耐火建築物及び準耐火建築物 (以下「耐火建築物等」という) の各欄において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11層以上の各欄において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備					
防 火設備 (道交20条)	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11層以上の各欄において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物等に形成された壁穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備					

自動ドア開閉装置	(1) 自動ドアの開閉装置は、防錆性能、連結防止装置の適用と共に「備考」欄による。 (2) センサーの種類は、「備考」欄による。
車椅子使用者用便所の引き戸	※(6-27-1) ・(6-27-2) ○図示による
防火・防煙シャッター	※(4-49-1) ○図示による

アルミ・ステンレス製建具枠	A1	A2	A3	A4
	A5	A6	A7	
鋼製建具枠	S1	S2	S3	S4
	S5	S6	S7	S8
鋼製軽量建具枠	L1	L2		
くつずり	1	2	3	4
	5	6		
建具の形状	A-1	A-2	A-3	A-4
	A-5	A-6		
	B-1	B-2	B-3	B-4
	B-5	B-6		
	B-7	B-8	G-1	

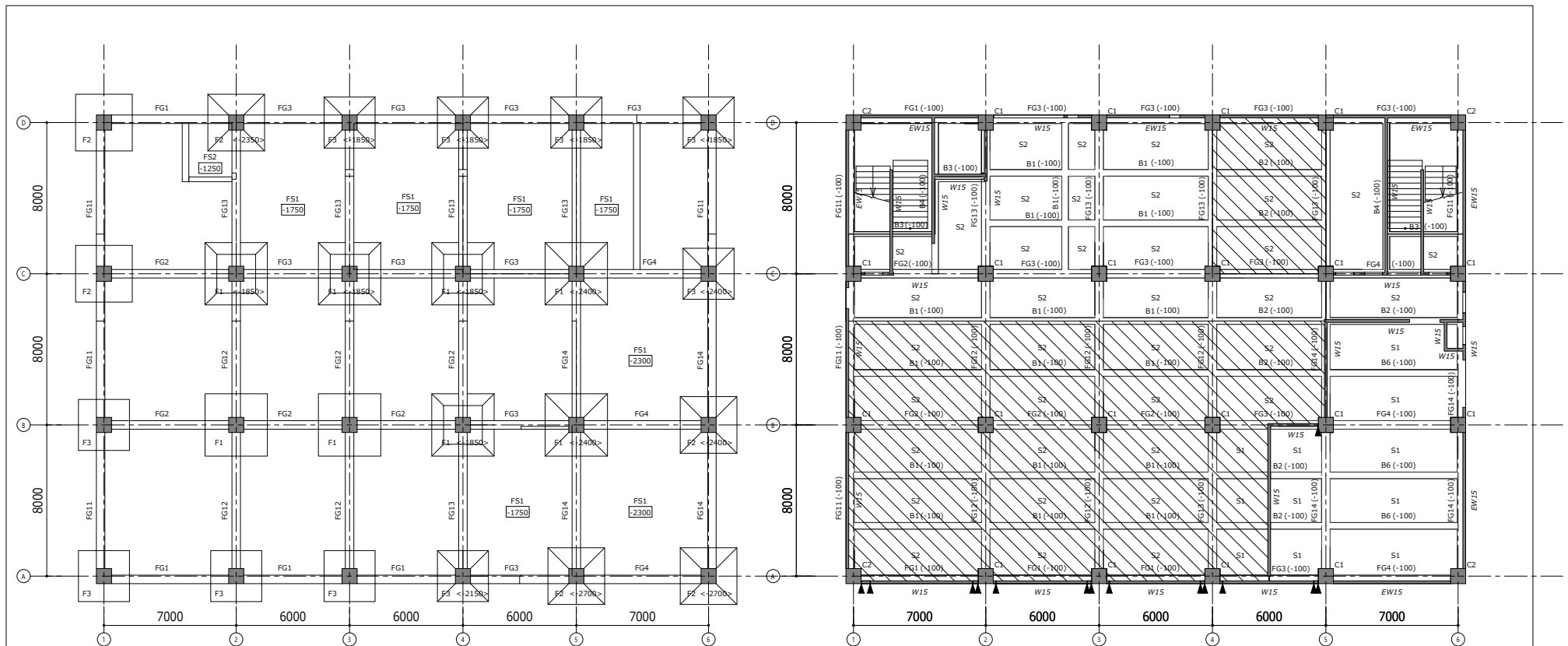
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-400
	建具共通事項	R5年版	16
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-401
建具表-1	R5年版	17
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事 (R5年版)		A-402
建具表-2	R5年版	18
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



[2] 基礎伏図 見下
1:200

特記無き限り下記による。

- FSスラブの周囲の梁は梁下部を増打ちしスラブを定着する。
- 基礎下端は、GL-1300とし、GL-2200までダブルコンクリートとする。
- < > 内数値は、GLからの基礎下端位置を示す。
- 内数値は、FLからの床レベルを示す。
- FSスラブの無い部分は埋戻しとする。
- () は、FLからの梁天端レベルを示す。
- 本図は見下げ図とする。
- 梁貫通は梁貫通伏図を参照とする。

[1] 1階床梁伏図 見下
1:200

特記無き限り下記による。

- 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
- ▼ は、構造スリットを示す。
- SL=FL-10とする。
- 内数値は、FLからの床レベルを示す。
- () は、FLからの梁天端レベルを示す。
- 本図は見下げ図とする。
- 梁貫通は梁貫通伏図を参照とする。
- ▨ は、FL-100とする。
- 釜場は意匠図を参照とする。

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)

床伏図1

S=1/200

R5年版


国土交通省大臣官房官庁営繕部

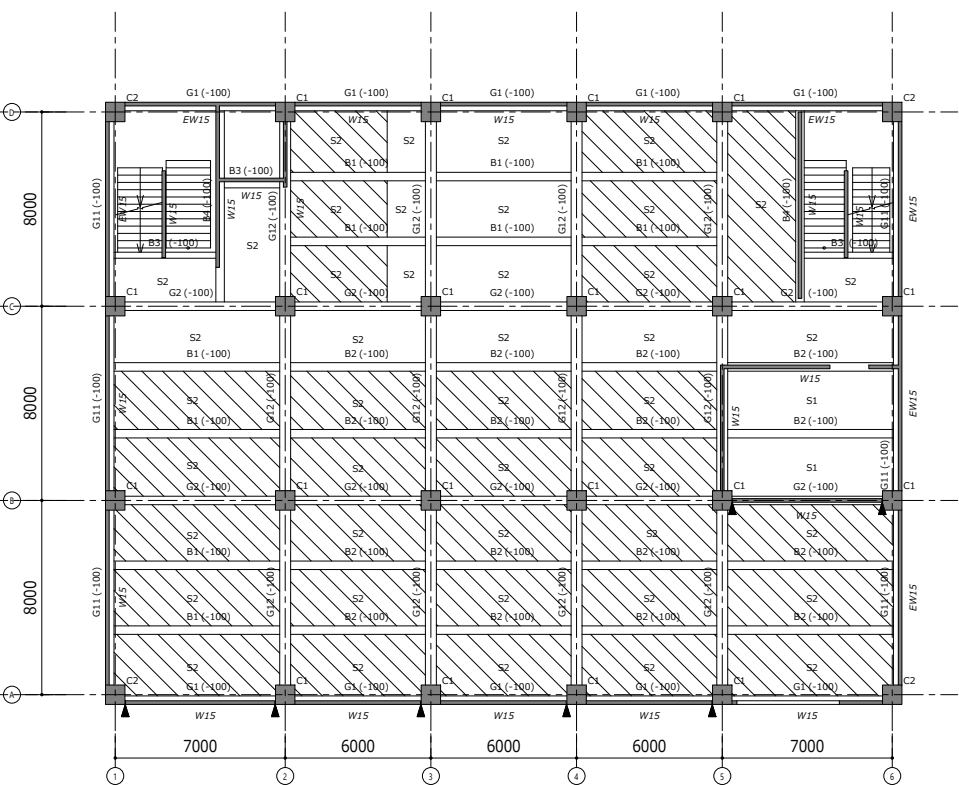
S-101



【1】1階柱壁、2階床梁伏図 見上
1:200


特記無き限り下記による。

1. 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
2. ▼ は、構造スリットを示す。
3. SL=FL-10とする。
4.  は、水上FL-650～水下FL-850とする。

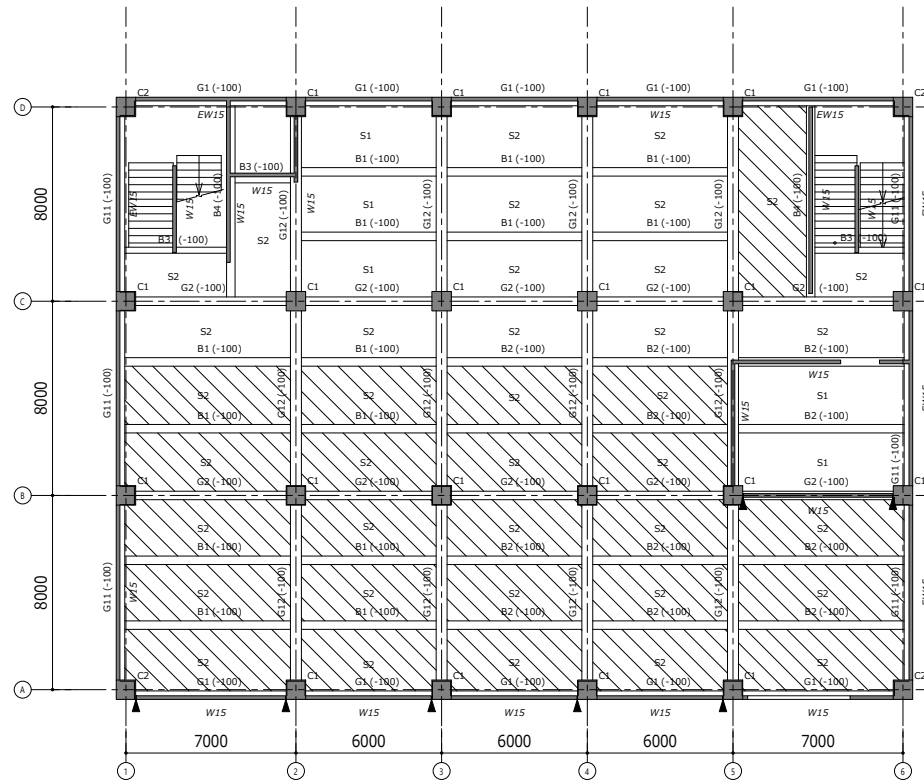


【2】2階柱壁、3階床梁伏図 見上
1:200

特記無き限り下記による。

1. 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
2. ▼ は、構造スリットを示す。
3. SL=FL-10とする。
4.  は、FL-100とする。

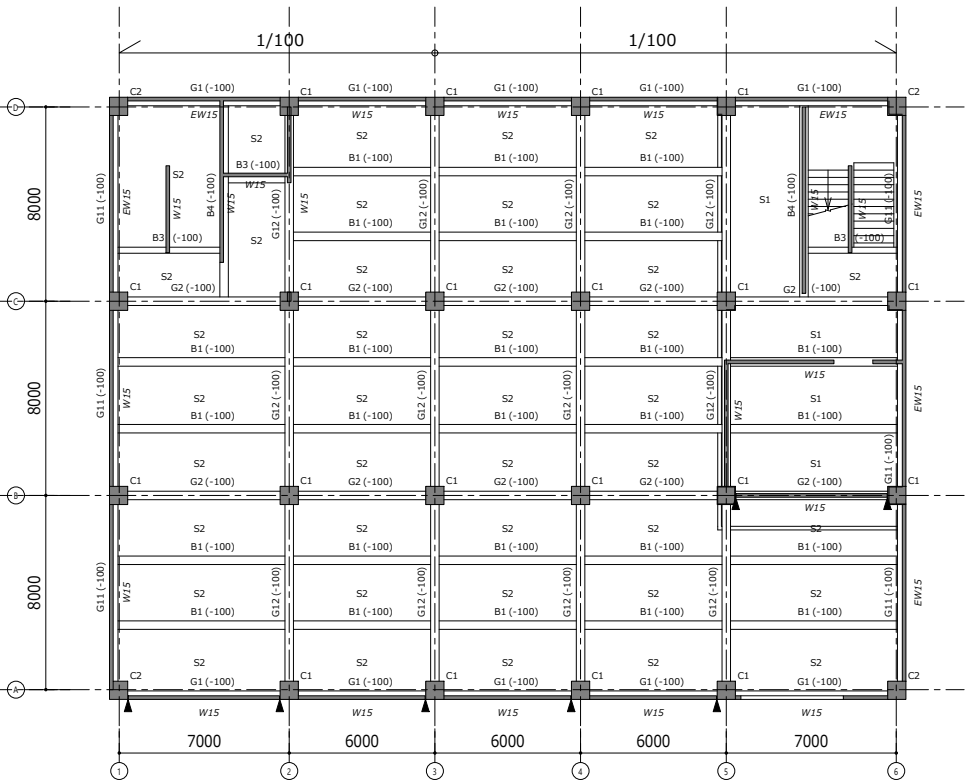
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)		S-102
	床伏図2	S=1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



【1】3階柱壁、4階床梁伏図 見上
1:200

特記無き限り下記による。

1. 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
2. ▼ は、構造スリットを示す。
3. SL=FL-10とする。
4. ▨ は、FL-100とする。



【2】4階柱壁、5階床梁伏図 見上
1:200

特記無き限り下記による。

1. 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
2. SL=FL-10とする。
3. 機械基礎・鳩小屋は意匠図による。

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)

床伏図3

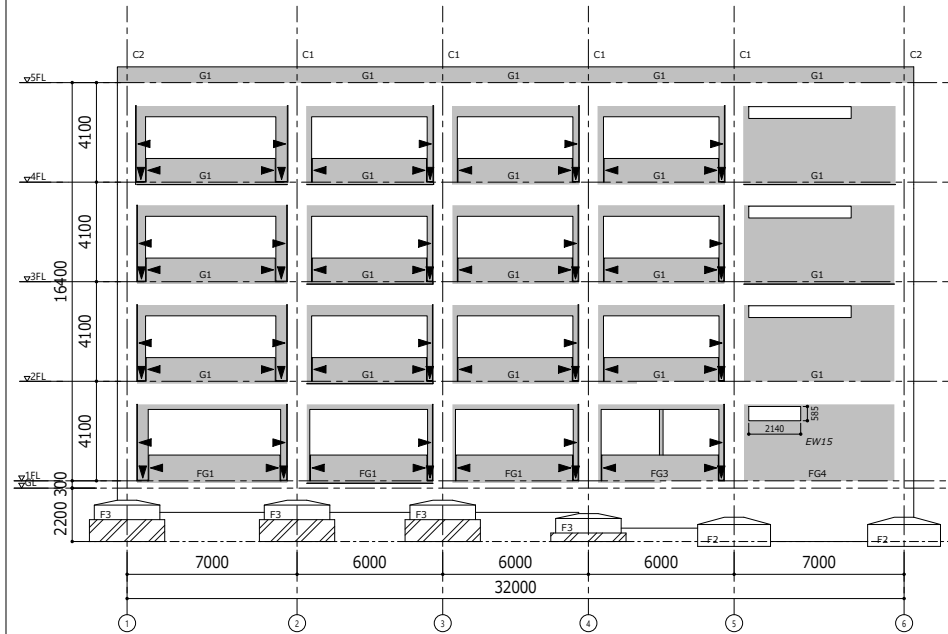
S=1/200

R5年版

国土交通省大臣官房官庁営繕部

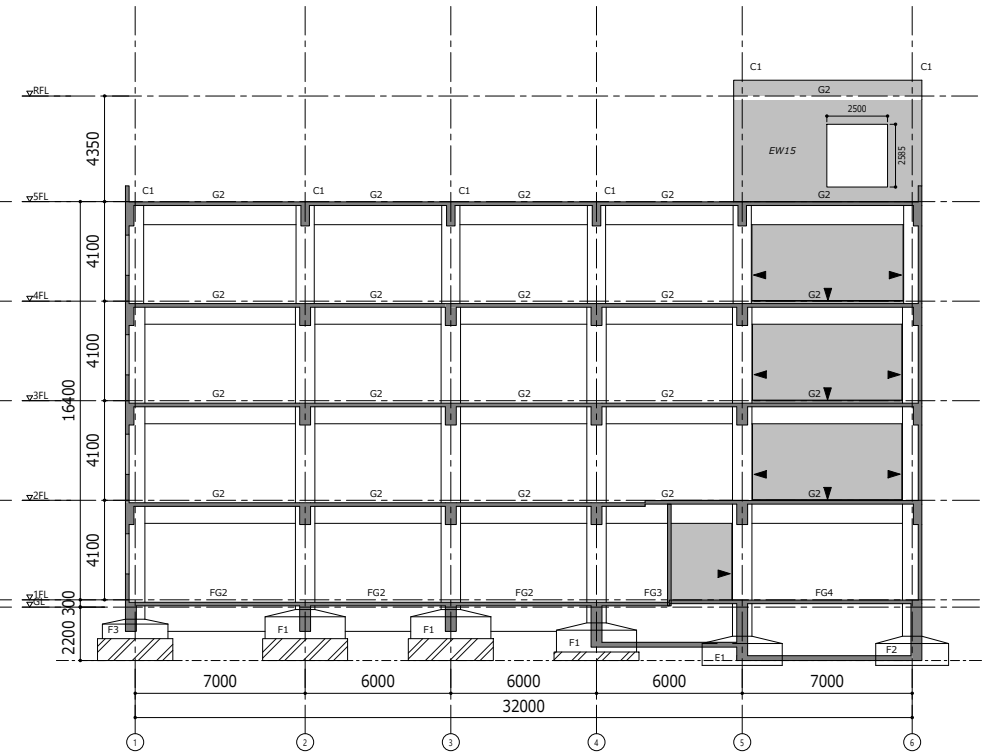
S-103





【1】A通り軸組図
1:200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. ▼ は、構造スリットを示す。
 4. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 5. 〰 は、ラップルコンクリートを示す。
 6. ■ は、直交梁・床を示す。
 7. □ は、壁を示す。



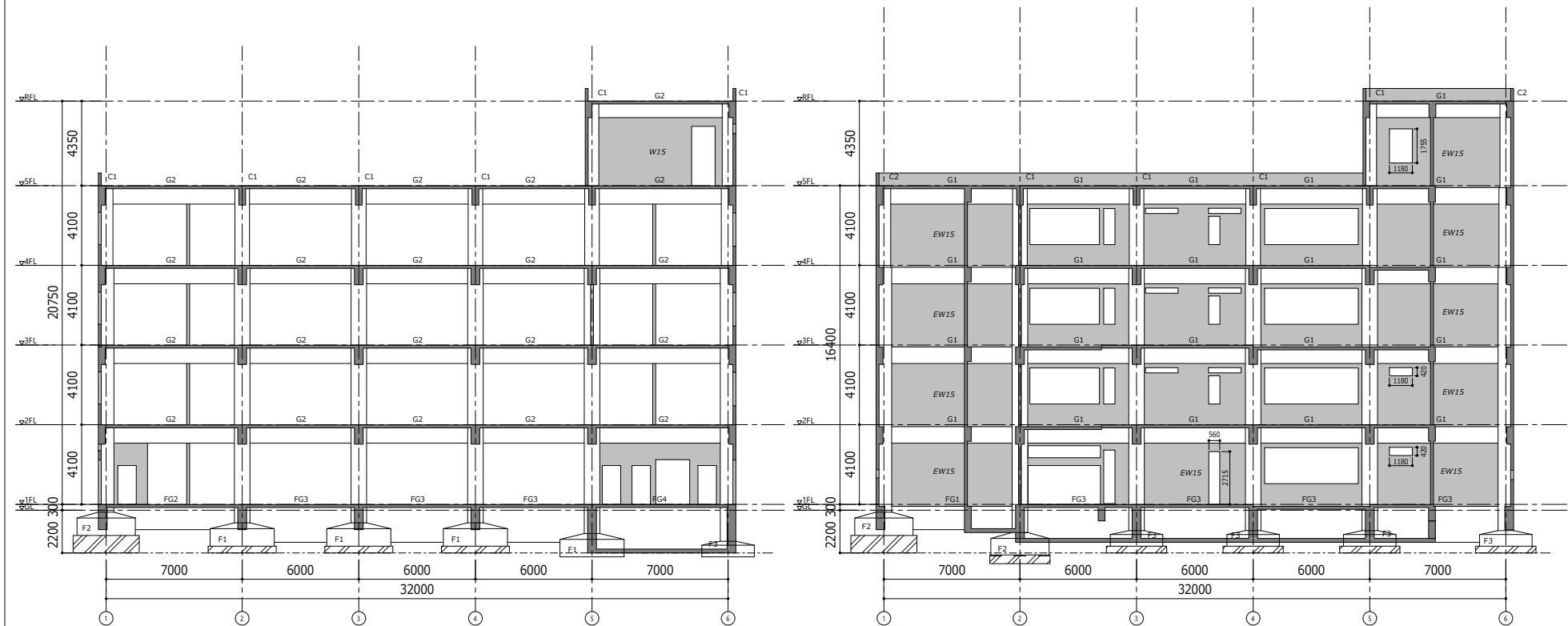
【2】B通り軸組図
1:200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. ▼ は、構造スリットを示す。
 4. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 5. 〰 は、ラップルコンクリートを示す。
 6. ■ は、直交梁・床を示す。
 7. □ は、壁を示す。




（設計者等表示欄）

R5官庁営繕BIM建築工事（構造）（R5年版）
軸組図1 S=1/200 R5年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部




S-201



【1】C通り軸組図
1: 200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 4.  は、ラップルコンクリートを示す。
 5.  は、直交梁・床を示す。
 6.  は、壁を示す。

【2】D通り軸組図
1: 200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 4.  は、ラップルコンクリートを示す。
 5.  は、直交梁・床を示す。
 6.  は、壁を示す。

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)

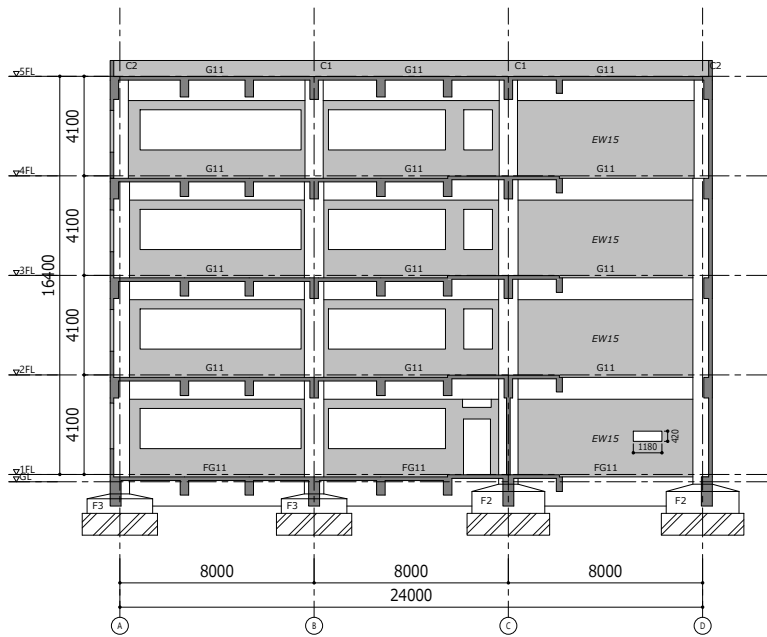
軸組図2

S=1/200

R5年版

国土交通省大臣官房官庁営繕部

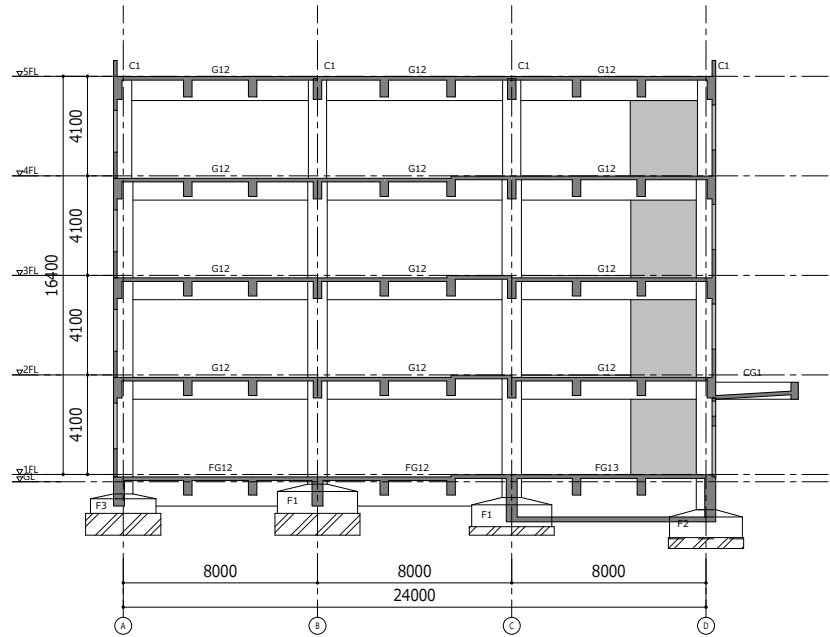
S-202



【1】1通り軸組図
1:200

特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4. は、ラップルコンクリートを示す。
5. は、直交梁・床を示す。
6. は、壁を示す。



【2】2通り軸組図
1:200

特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4. は、ラップルコンクリートを示す。
5. は、直交梁・床を示す。
6. は、壁を示す。

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)

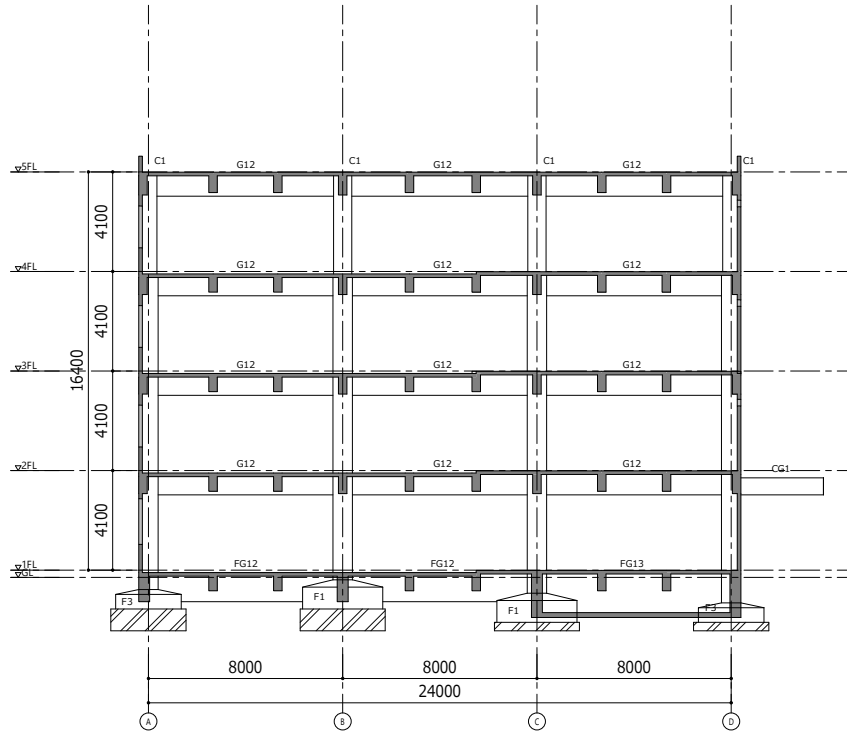
軸組図3

S=1/200

R5年版

S-203

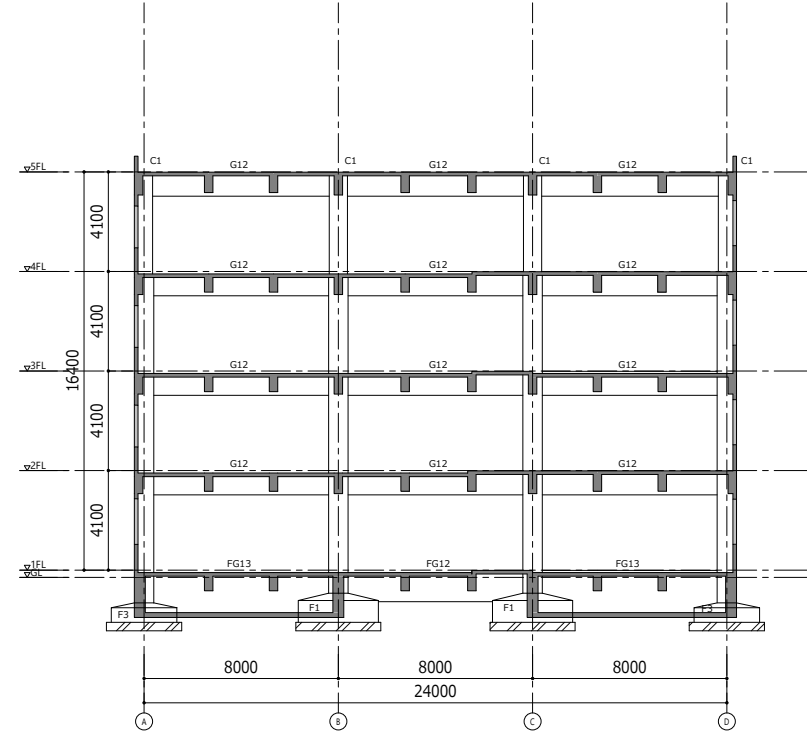
国土交通省大臣官房官庁営繕部



【1】3通り軸組図
1:200

特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4. は、ラップルコンクリートを示す。
5. は、直交梁・床を示す。
6. は、壁を示す。



【2】4通り軸組図
1:200

特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4. は、ラップルコンクリートを示す。
5. は、直交梁・床を示す。
6. は、壁を示す。

（設計者等表示欄）

R5官庁営繕BIM建築工事（構造）（R5年版）

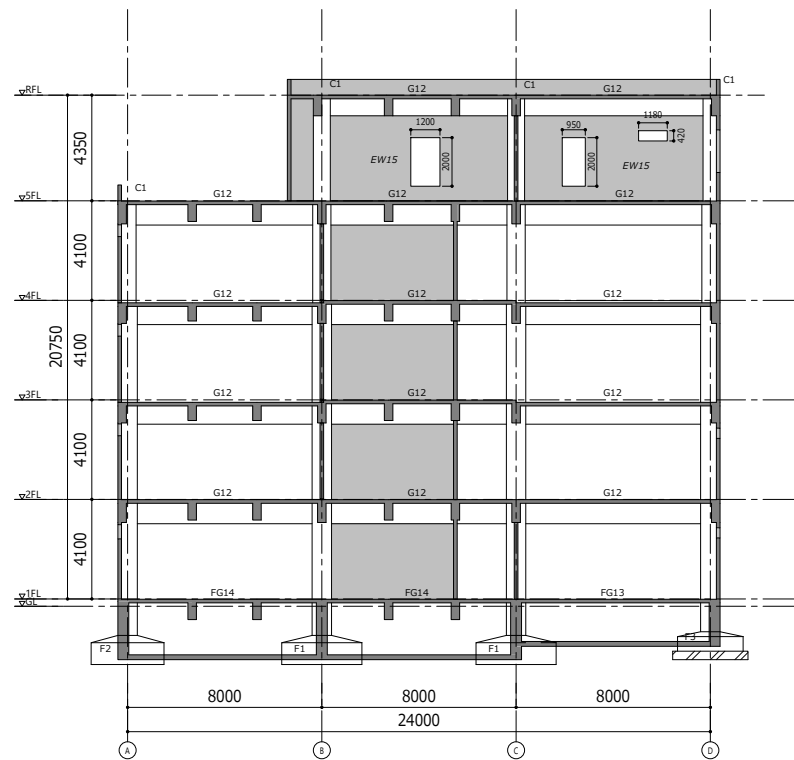
軸組図4

S=1/200




R5年版

国土交通省大臣官庁官庁営繕部

S-204






【1】5通り軸組図
1:200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 4.  は、ラップルコンクリートを示す。
 5.  は、直交梁・床を示す。
 6.  は、壁を示す。

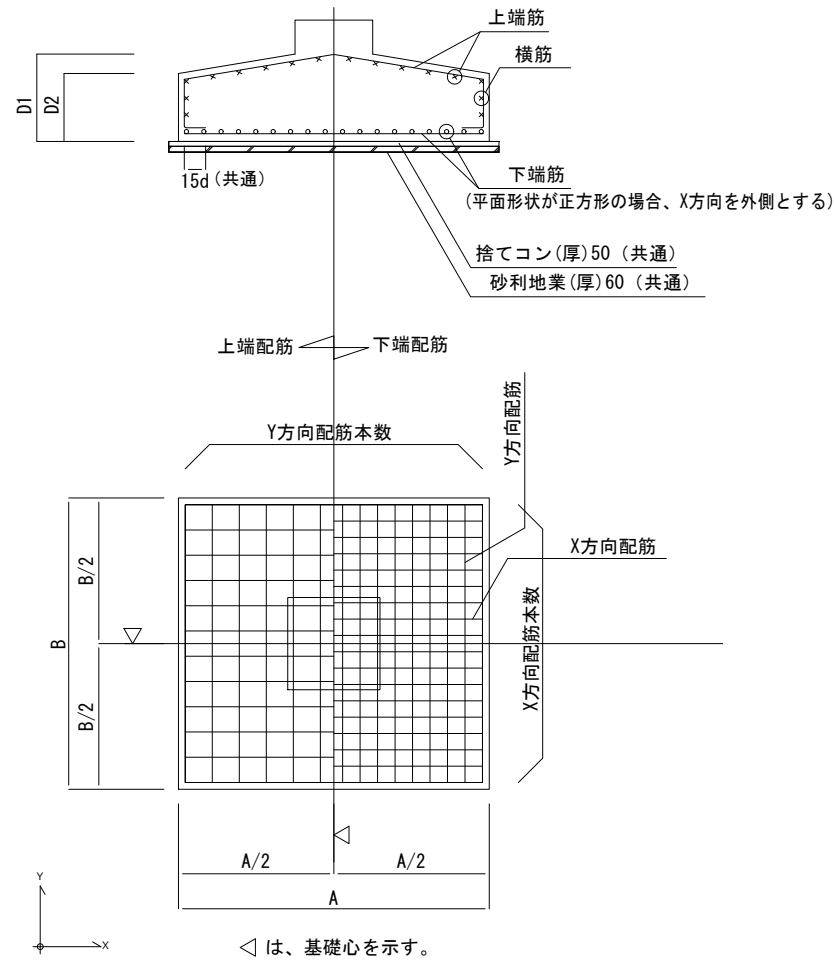


【2】6通り軸組図
1:200

- 特記無き限り下記による。
1. 1FL=設計GL+300
 2. 壁符号はW15とする。
 3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
 4.  は、ラップルコンクリートを示す。
 5.  は、直交梁・床を示す。
 6.  は、壁を示す。

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)		S-205
	軸組図5	S=1/200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

符号	断面				X方向鉄筋				Y方向鉄筋				横筋		個数	備考
	A	B	D1	D2	上端筋		下端筋		上端筋		下端筋		径	本数		
					径	本数	径	本数	径	本数	径	本数				
F1	3300	3300	1200	900	D13	12	D19	21	D13	12	D19	21	D13	4	8	
F2	3000	3000	1200	900	D13	11	D19	21	D13	11	D19	21	D13	4	6	
F3	2700	2700	800	600	D13	10	D19	15	D13	10	D19	15	D13	3	10	



(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)

基礎リスト

S=1:50

R5年版

S-301

国土交通省大臣官房官庁営繕部

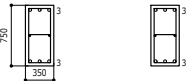
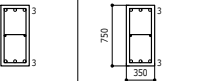
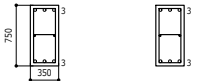
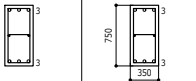
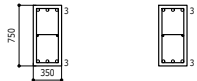
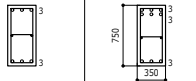
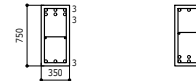
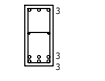
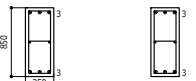
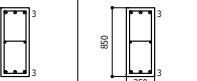
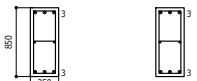
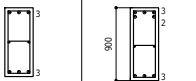

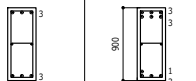
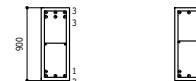
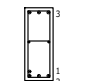

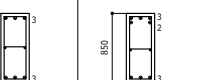
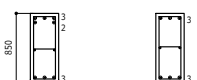
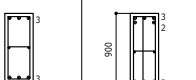
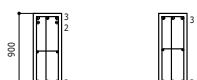
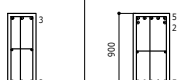
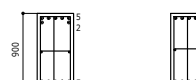
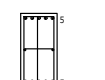

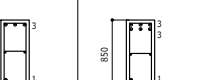

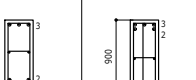

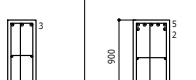
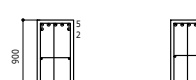
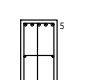
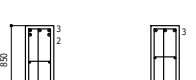
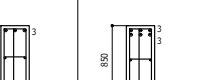

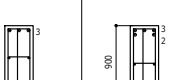

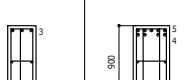
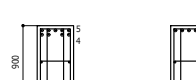
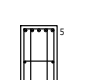
【1】RCリスト_基礎大梁

階	符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	FG13	FG14
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
FL	断面								
	上端筋	6-D29	6-D29	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	下端筋	6-D29	6-D29	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	筋筋	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@150	2-D13@150	2-D13@200	2-D13@200
	腹筋	6-D10	6-D10	12-D10	14-D10	6-D10	6-D10	12-D10	14-D10











（設計者等表示欄）

R5官庁営繕BIM建築工事（構造）（R5年版）		S-302
基礎梁リスト	S= 1 : 50 R5年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		

【1】RCリスト_大梁

階	符号	G1		G2		G11		G12		
		位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
RFL	断面									
		上横筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22	3-D22
		下横筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22
		肋筋	2-D13@250		2-D13@250		2-D13@250		2-D13@200	
		腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
5FL	断面									
		上横筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25
		下横筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25
		肋筋	2-D13@250		2-D13@250		2-D13@200		2-D13@200	
		腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
4FL	断面									
		上横筋	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	7-D25	5-D25
		下横筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25
		肋筋	2-D13@150		2-D13@150		3-D13@150		3-D13@150	
		腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
3FL	断面									
		上横筋	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	7-D25	5-D25
		下横筋	3-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25
		肋筋	2-D13@100		2-D13@100		3-D13@150		3-D13@150	
		腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
2FL	断面									
		上横筋	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	9-D25	5-D25
		下横筋	3-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	6-D25	5-D25
		肋筋	3-D13@100		3-D13@100		3-D13@150		4-D13@150	
		腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	

【2】RCリスト_柱

階	符号	C1	C2
		断面	断面
5FL	断面		
	主筋	14-D22	14-D22
	巻筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
4FL	断面		
	主筋	19-D22	14-D22
	巻筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
3FL	断面		
	主筋	24-D25	16-D25
	巻筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
2FL	断面		
	主筋	28-D25	20-D25
	巻筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
1FL	断面		
	主筋	28-D25	20-D25
	巻筋	3-5-D13@100	2-2-D13@100

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM建築工事(構造)(R5年版)










柱・大梁リスト

S=1:60 R5年版



国土交通省大臣官庁官庁営繕部

S-303

【1】RCリスト_小梁

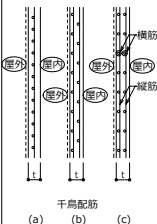
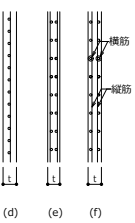
階	符号	B1	B2		B3	B4		B5	B6	
	位置	全断	端部	中央	全断	端部	中央	全断	端部	中央
FL	断面									
	上端筋	3-D22	5-D22	3-D22	2-D19	5-D22	3-D22	3-D19	5-D22	3-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	4-D22	2-D19	3-D22	5-D22	3-D19	5-D22	8-D22
	筋筋	2-D10@200	2-D10@200		2-D10@200	2-D10@200		2-D10@200	2-D10@200	
	腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	

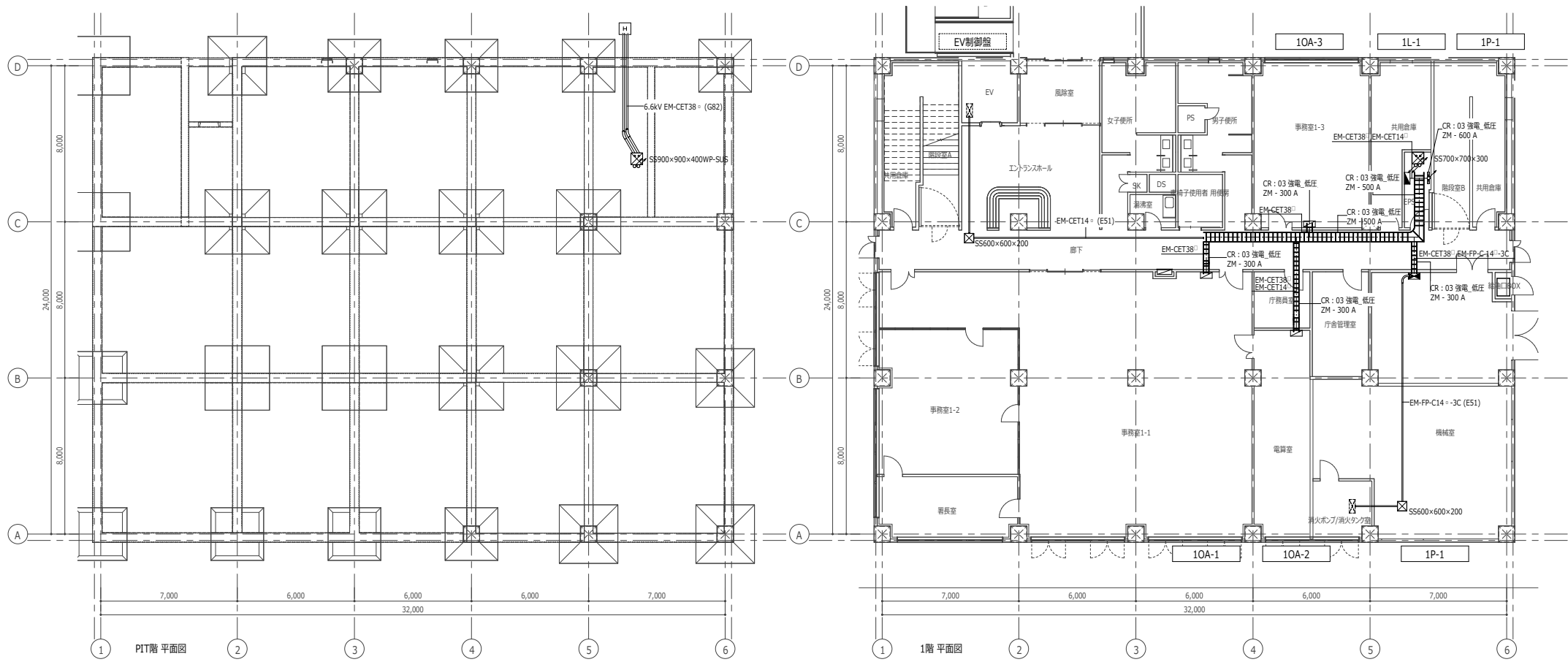
【2】RCリスト_片持ち大梁

階	符号	CG1	
	位置	元端	先端
FL	断面		
	上端筋	10-D25	5-D25
	下端筋	5-D25	3-D25
	筋筋	2-D10@150	
	腹筋	2-D10	

（設計者等表示欄）

R5官庁営繕BIM建築工事（構造）（R5年版）			S-304
小梁リスト	S=1：60	R5年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部			

壁リスト									床スラブリスト							
縦断面図	符号	壁厚	主筋			開口補強筋			備考	符号	厚さ	主筋		配筋筋		備考
			配置	縦筋	横筋	縦筋	横筋	斜筋				上端筋	下端筋	上端筋	下端筋	
外壁 	EW15	150	ダブル配筋	D10@100	D10@100					CS1	150	D13@200	D10@200	D10@200	D10@200	
	W15	150	シングル配筋	D10@150	D10@150					FS1	200	D13@100	D13@100	D13@150	D13@150	
										FS2	200	D10,D13@100	D10,D13@100	D10,D13@100	D10,D13@100	
内壁 										S1	150	D13@100	D13@200	D10,D13@200	D10,D13@200	
										S2	150	D10,D13@200	D10,D13@200	D10,D13@200	D10@200	
</																



【幹線リスト】

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧電灯盤No.1	L11	1L-1	EM-CET38□
	L12	2L-1	EM-CET38□
	L13	3L-1	EM-CET38□
	L13	10A-1	EM-CET38□
	L14	10A-2	EM-CET38□
	L15	10A-3	EM-CET38□
	L16	20A-1	EM-CET38□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧動力盤No.2	L21	3L-1	EM-CET38□
	L22	4L-1	EM-CET38□
	L23	30A-1	EM-CET38□
	L24	30A-2	EM-CET38□
	L25	30A-3	EM-CET38□
	L26	40A-1	EM-CET38□
	L27	40A-2	EM-CET38□
	L28	40A-3	EM-CET38□

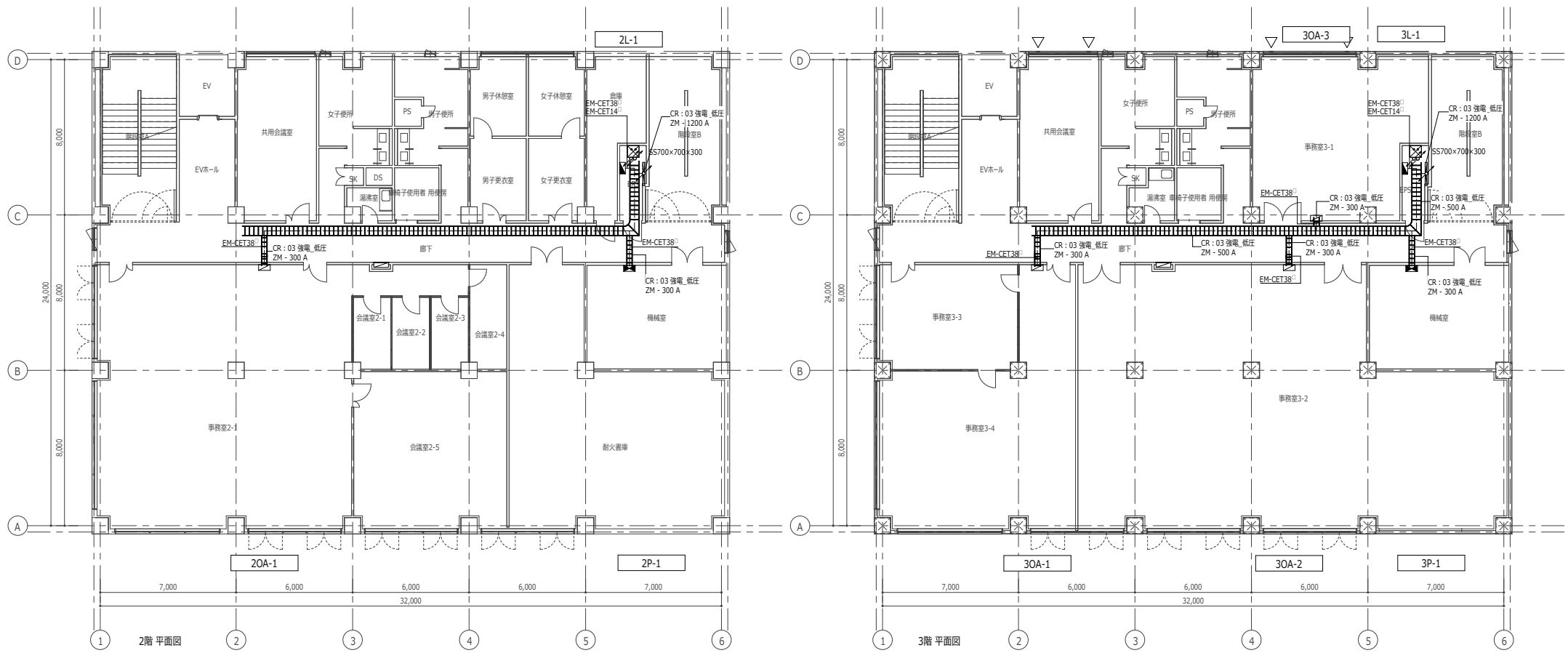
配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧動力盤	P01	1P-1	EM-CET14□
	P02	2P-1	EM-CET38□
	P03	3P-1	EM-CET38□
	P04	4P-1	EM-CET38□
	P05	5P-1	EM-CET38□
	P06	EV制御盤	EM-CET14□
	P07	パワーコンディンサ	EM-CET14□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
非常保安電灯盤	GL-11	1L-1	EM-CET14□
	GL-12	2L-1	EM-CET14□
	GL-13	3L-1	EM-CET14□
	GL-21	4L-1	EM-CET14□
	GL-22	5L-1	EM-CET14□
	GL-23	10A-2	EM-CET14□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
非常保安動力盤	GP-01	5P-1	EM-CET14□
	GP-02	5P-2	EM-CET14□
	GP-03	消火ポンプ制御盤	EM-FP-C14□-3C

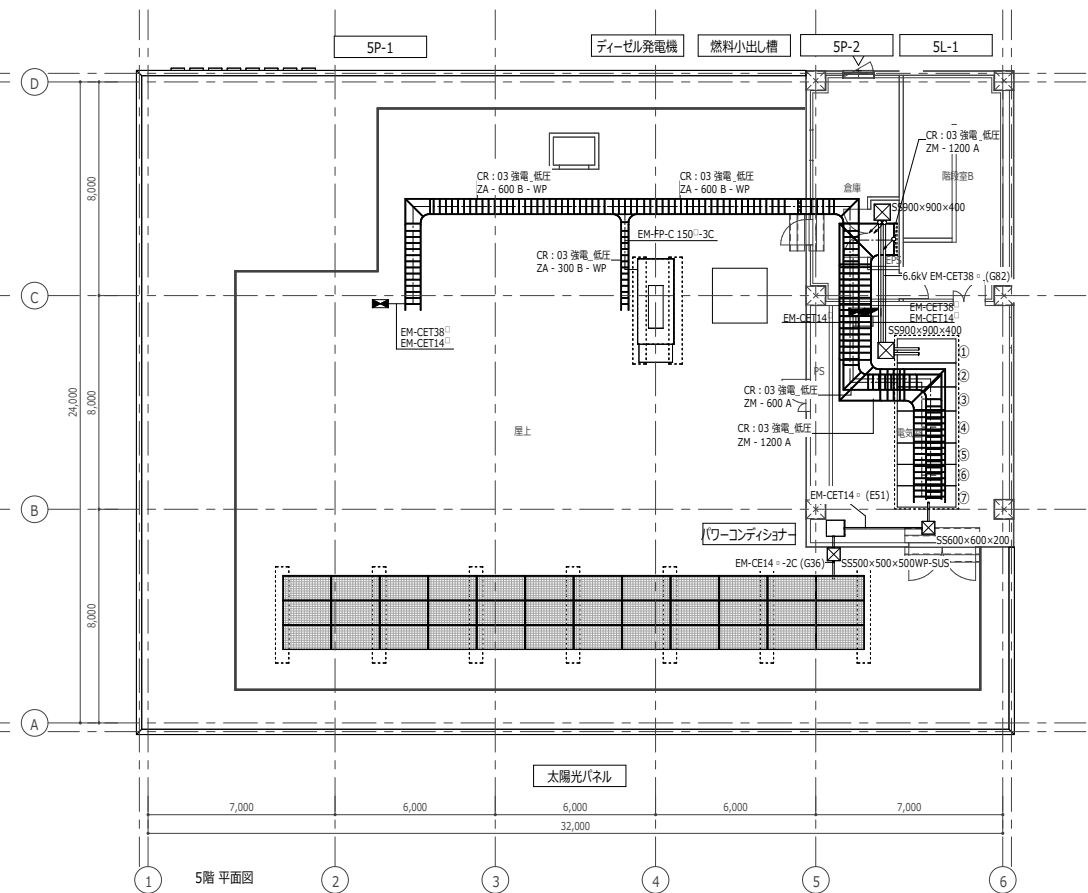
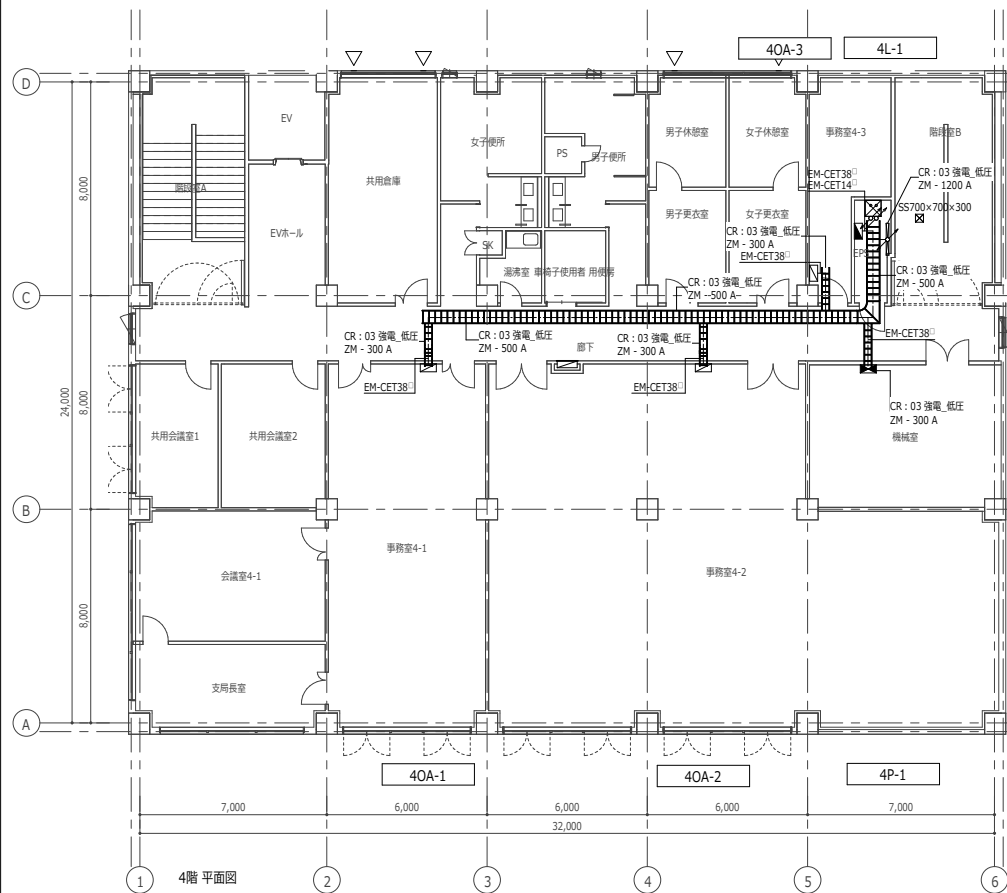
盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM電気設備工事 (R5年版)		3001
	幹線設備・受変電設備・発電設備 P1T-1階 平面図、配置図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		1



盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

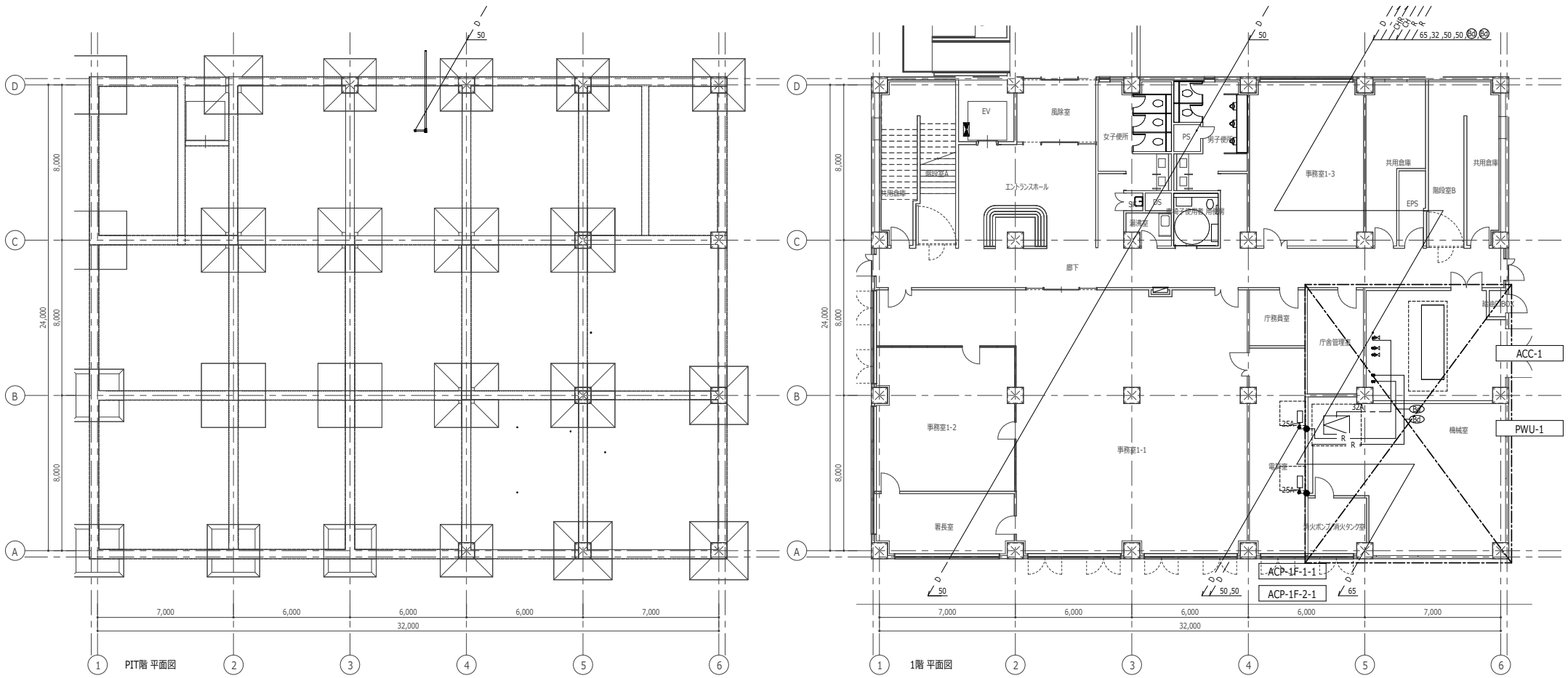
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM電気設備工事 (R5年版)		3002
	幹線設備・受変電設備・発電設備 2・3階 平面図 配置図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		2



凡例	
記号	盤名称
①	受電盤
②	低圧電灯盤No.1
③	低圧電灯盤No.2
④	低圧動力盤
⑤	低圧コンデンサ盤
⑥	非常保安動力盤
⑦	非常保安電灯盤

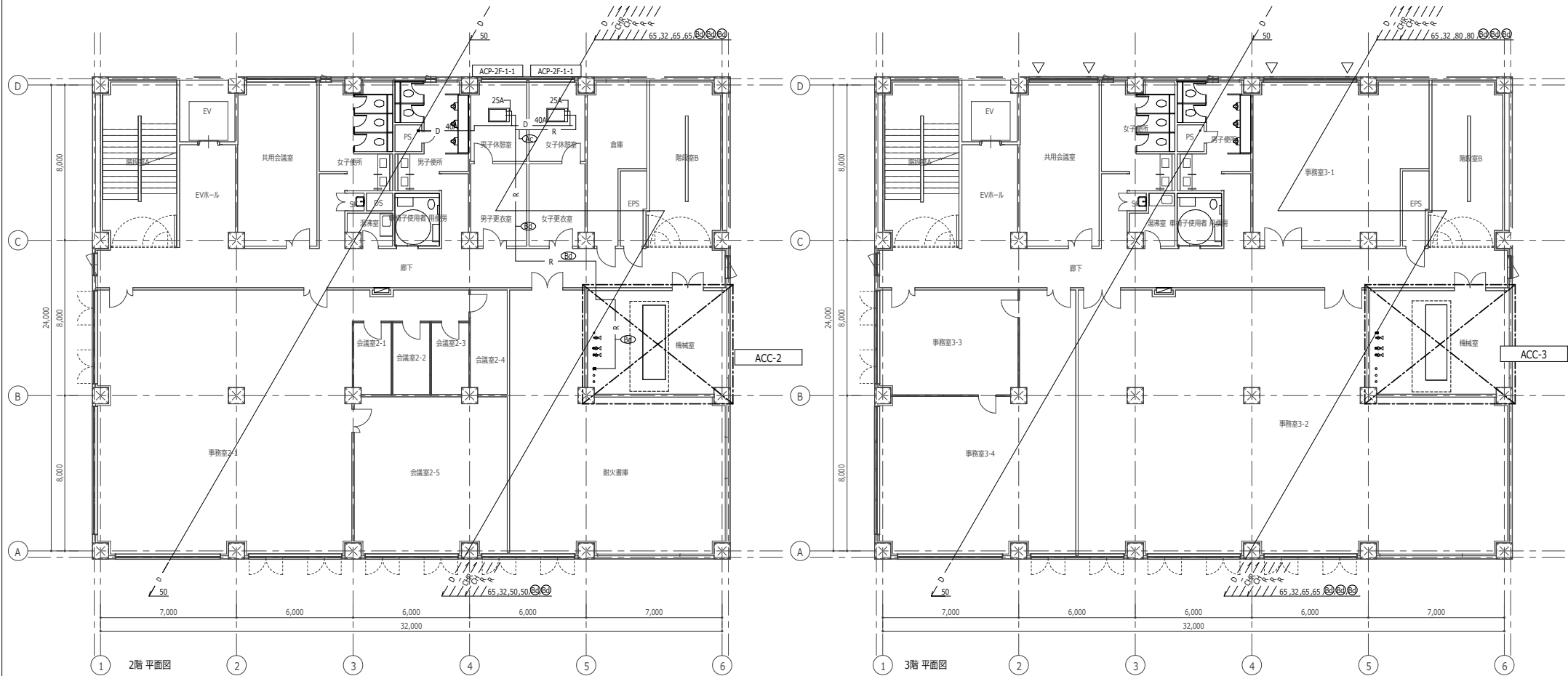
盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM電気設備工事 (R5年版)		3003
	幹線設備・受変電設備・充電設備 4-PH分 平面図 配線図	A1 S.1/100 A3 S.1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）
 制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

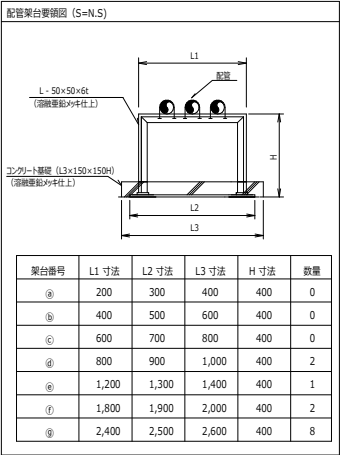
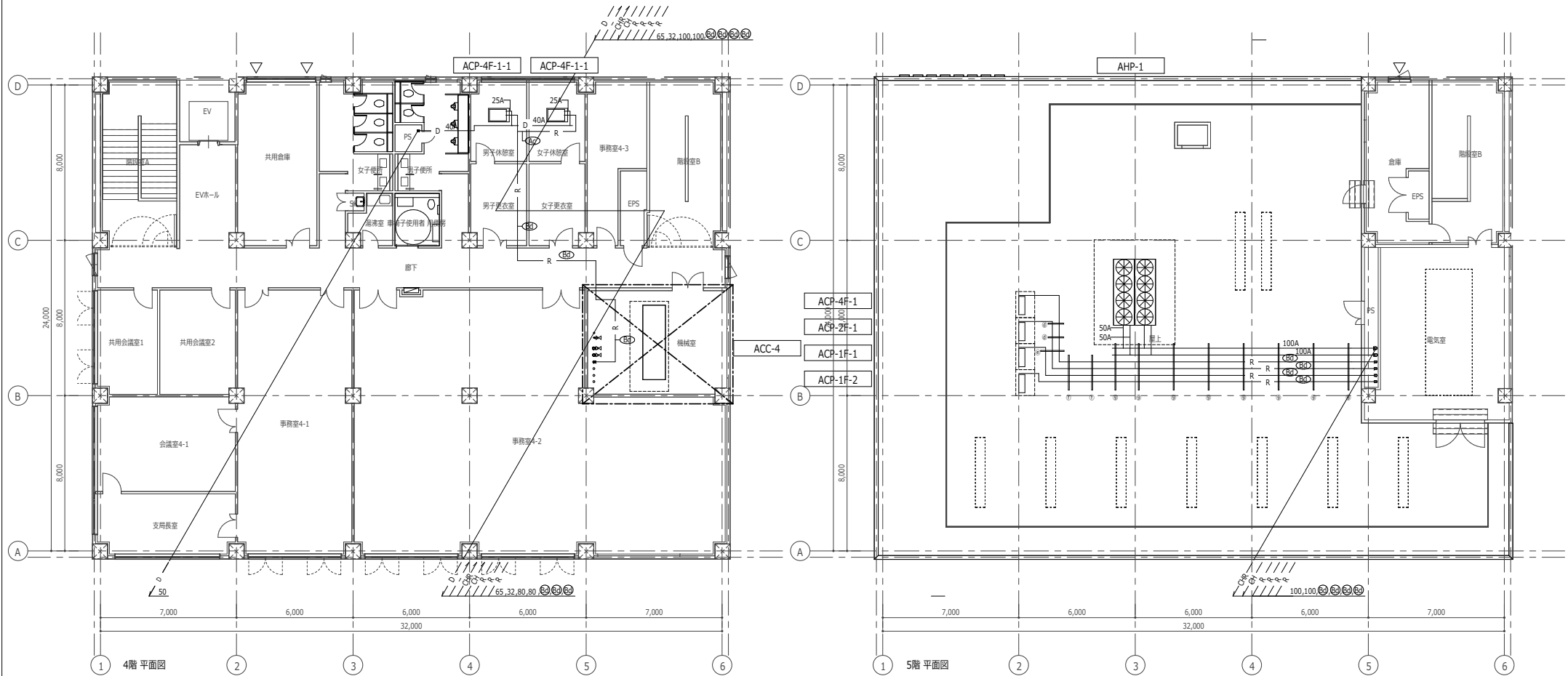
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事（R5年版）		4001
	空調配管設備 PIT-1階 平面図	A1 S.1/100 A3 S.1/200	R5年版 1
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



冷暖配管サイズ表		
符号	暖房サイズ	冷房サイズ
Ac	6.40	12.70
Bd	9.50	15.90
Be	9.50	19.10
Bf	9.50	22.30
Ch	12.70	28.60
Dh	15.90	28.60
Ei	19.10	31.80
Ek	19.10	38.10

機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

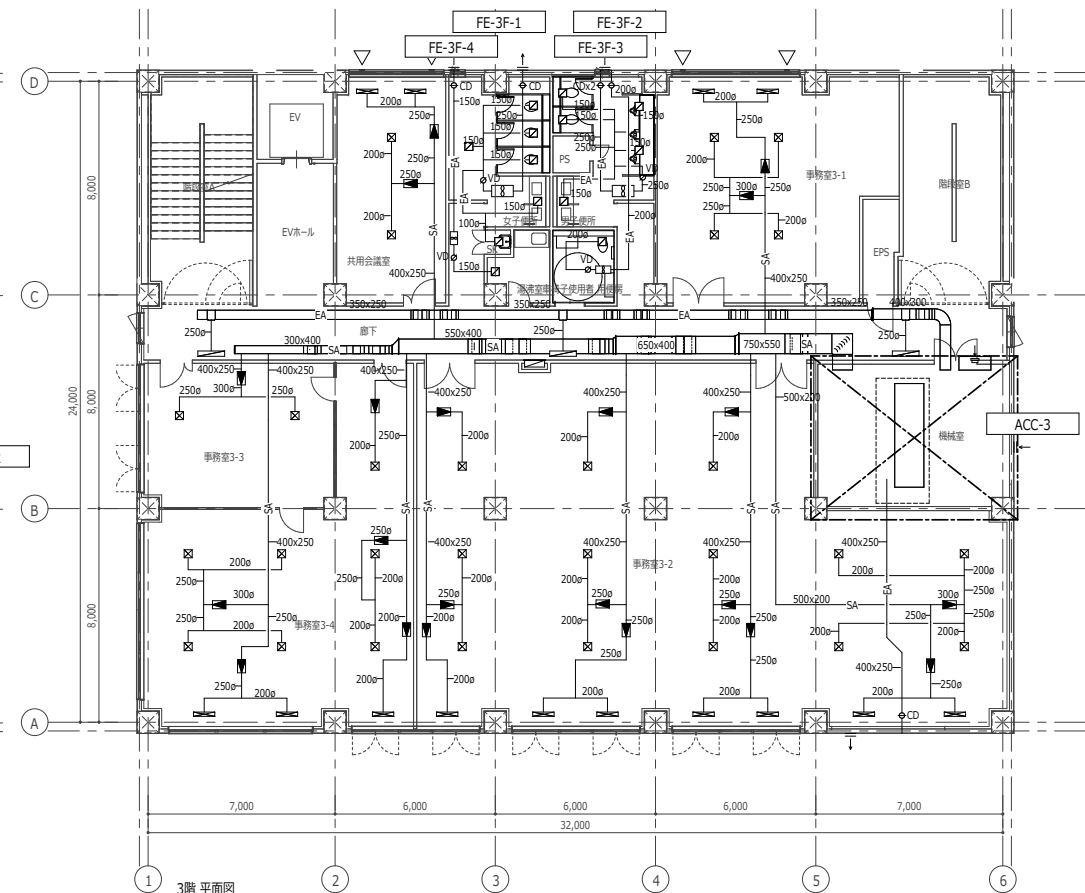
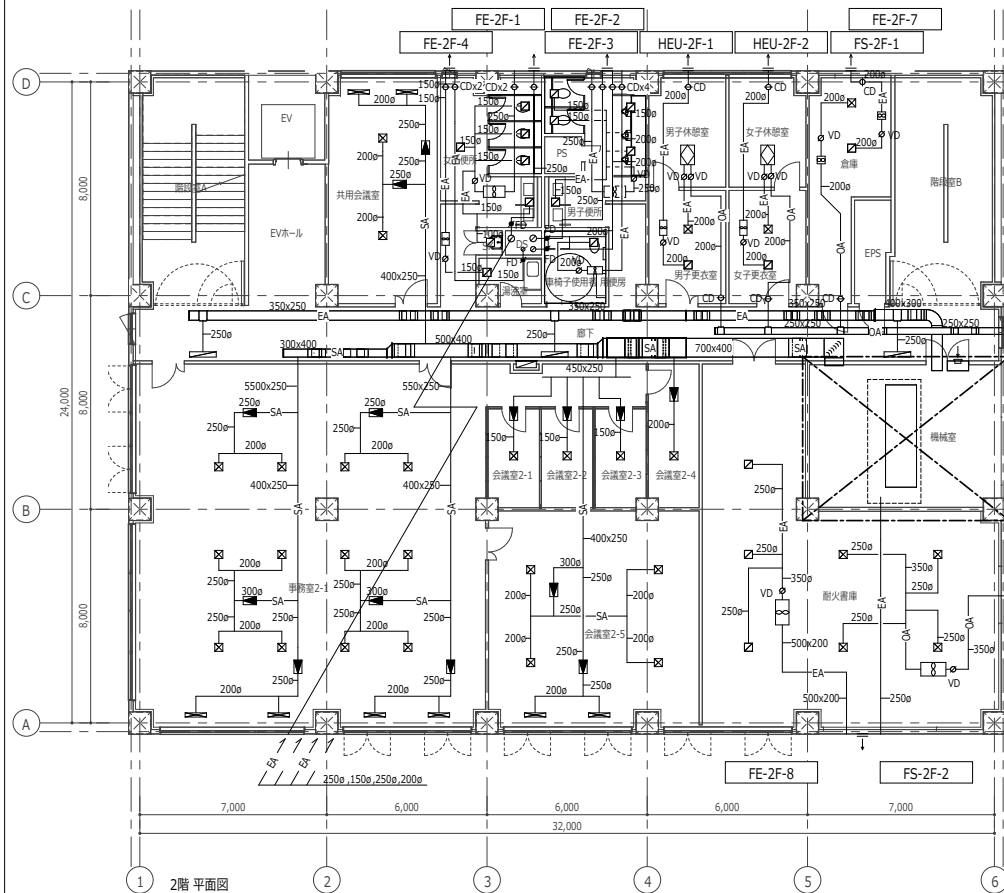
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事（R5年版）	4002
	空調配管設備 2・3階 平面図	A1 S.1/100 A3 S.1/200 R5年版 2
	国土交通省大臣官庁官庁営繕部	



冷暖配管サイズ表		
符号	標準サイズ	最大サイズ
Ac	6.40	12.70
Bd	9.50	15.90
Be	9.50	19.10
Bf	9.50	22.20
Ch	12.70	28.60
Dh	15.90	28.60
Ei	19.10	31.80
Ek	19.10	38.10

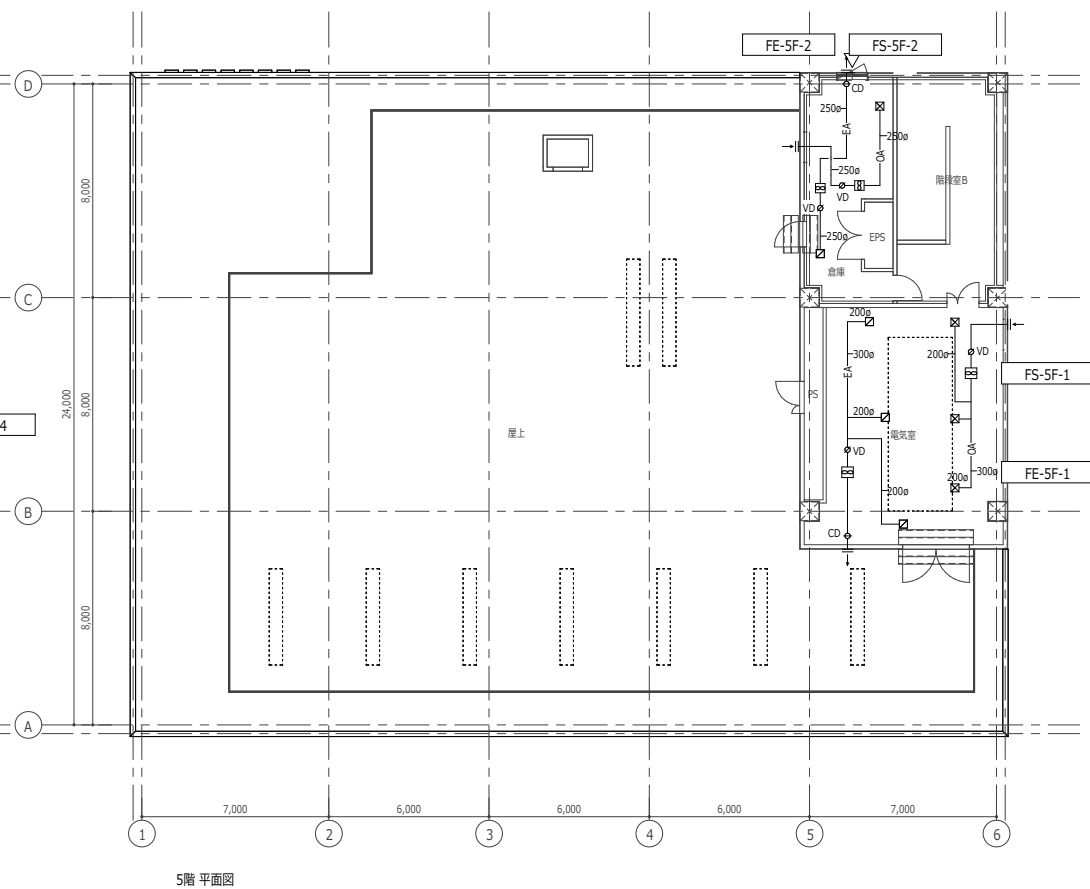
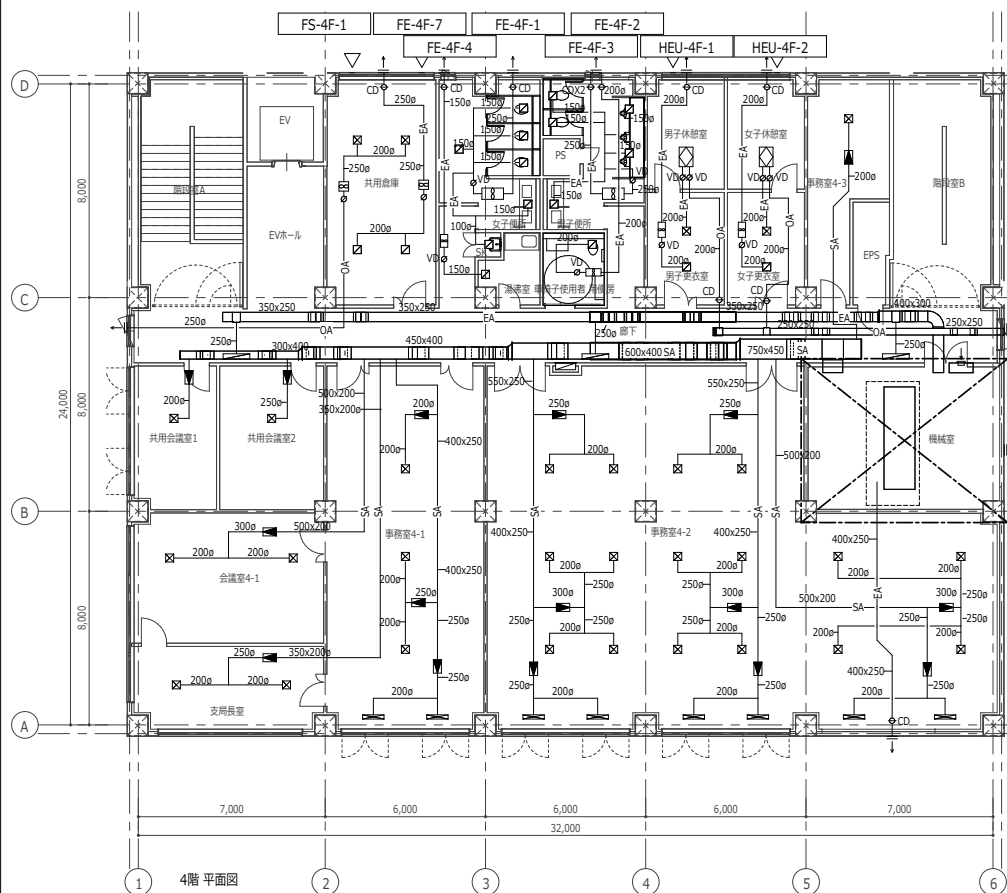
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事 (R5年版)		4003
	空調配管設備 4-PHF層 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版 3
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



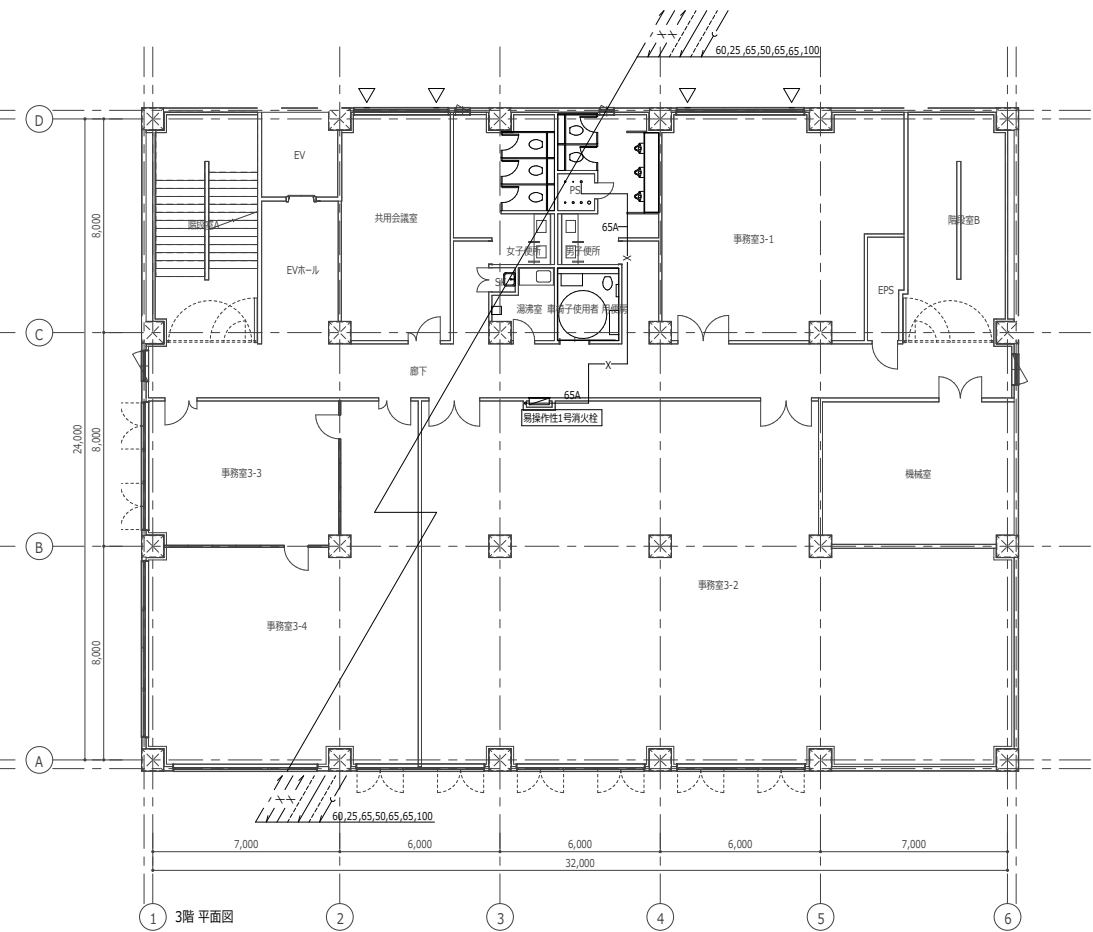
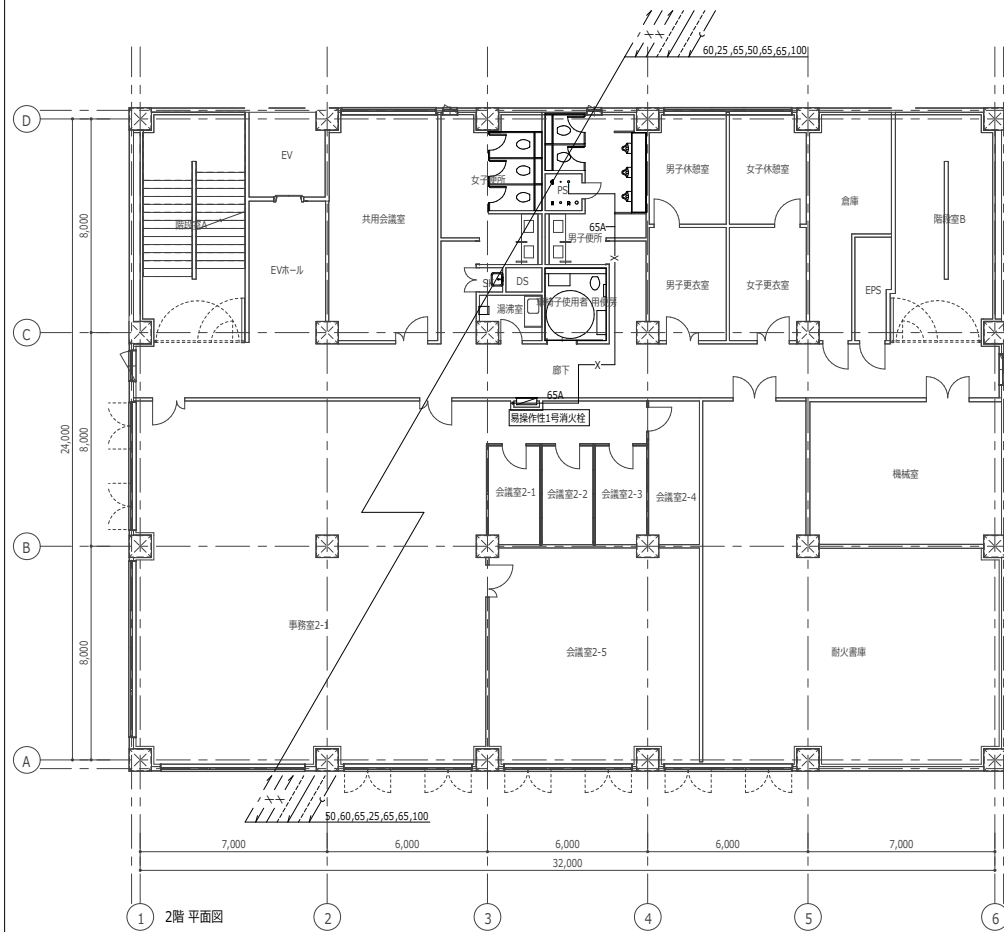
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

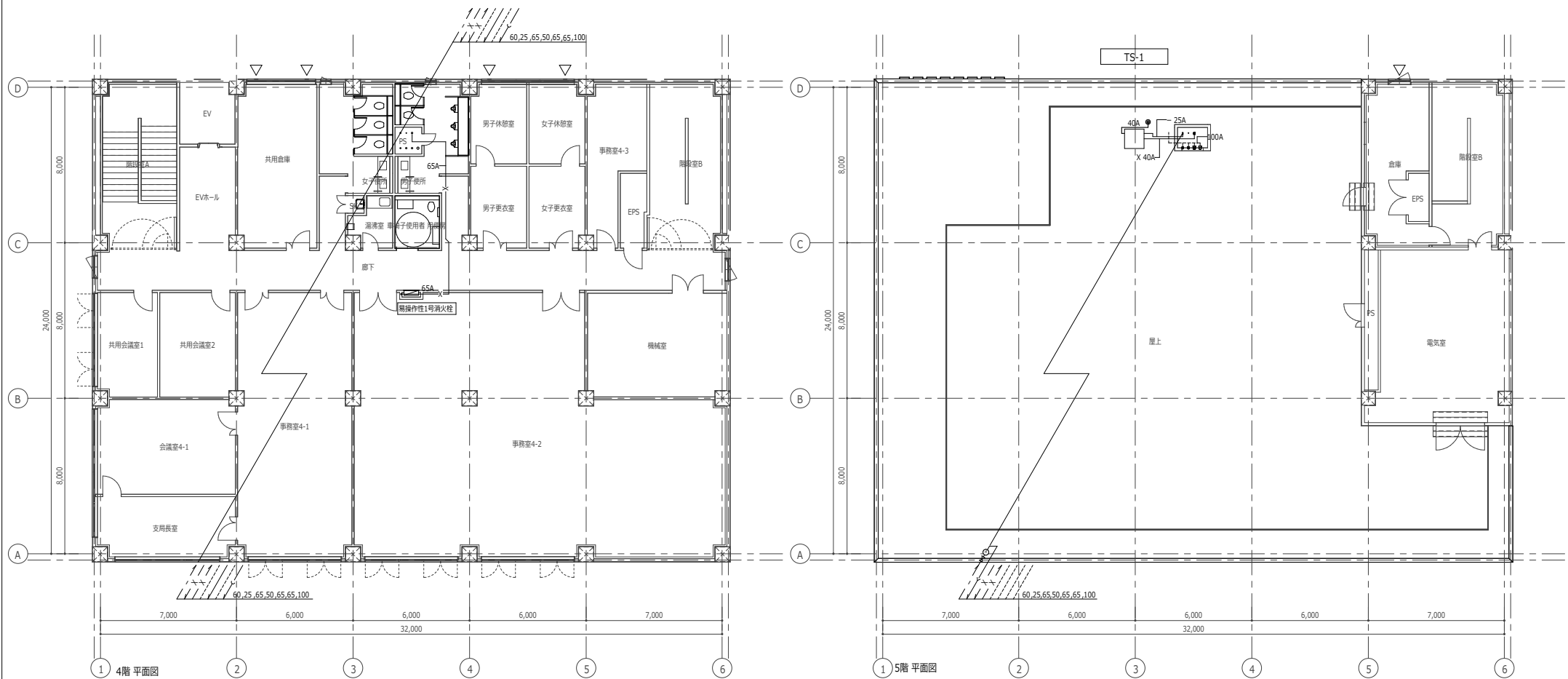
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事 (R5年版)		4005
	空調システム設備	A1 S.1/100	R5年版
	2階 平面図	A3 S.1/200	
国土交通省大臣官庁官庁営繕部			5



機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事(R5年版)		4006
	定額引付設備 4-PHF需 平面図	A1 S.1/100 A3 S.1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

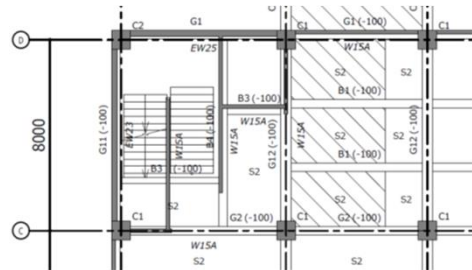






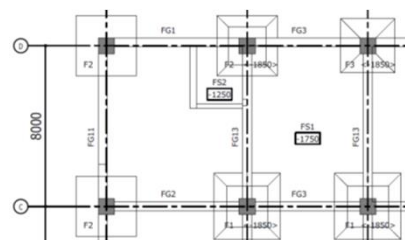
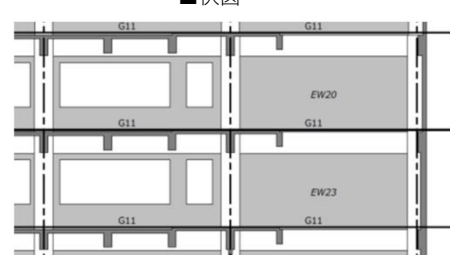

















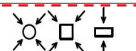



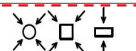









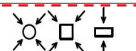




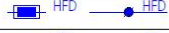
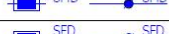
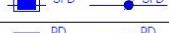







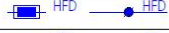
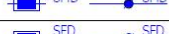
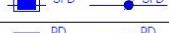









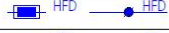
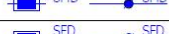
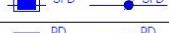






(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM機械設備工事 (R5年版)		5003
	給排水衛生設備	A1 S.1/100	R5年版
	4-PHP附 平面図	A3 S.1/200	
国土交通省大臣官房官庁営繕部			9

【別紙 3】

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等																																																				
3	建具開閉表示記号	<p>建具開閉表示記号について、建具表の形状図に表示することとし、立面図への表示は任意とする。</p> <p>■立面図</p> <p>■建具表形状図</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 別表3 建具開閉表示記号 (図中赤枠部分)</p> <p>表示記号を、建具オブジェクトと連動して所定の位置に表示するための設定、複数の尺度で視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。</p> <table><tr><th colspan="4">別表3 建具開閉表示記号</th></tr><tr><th>表示事項</th><th>表示記号</th><th>表示事項</th><th>表示記号</th></tr><tr><td>両開き</td><td></td><td>アコーディオンドア</td><td></td></tr><tr><td>縦子</td><td></td><td>回転</td><td></td></tr><tr><td>片開き</td><td></td><td>横軸</td><td></td></tr><tr><td>両引き</td><td></td><td>はめこらし</td><td>FIX</td></tr><tr><td>引違い</td><td></td><td>縦軸</td><td></td></tr><tr><td>片引き (I) 片面がFIXのとき</td><td></td><td>すべりだし</td><td></td></tr><tr><td>片引き (II)</td><td></td><td>内倒し</td><td></td></tr><tr><td>引違いに戸袋がある場合</td><td></td><td>外倒し</td><td></td></tr><tr><td>シャッター</td><td></td><td>つきだし</td><td></td></tr><tr><td>オーバーヘッドドア</td><td></td><td>上げ下げ</td><td></td></tr><tr><td>折表開は片引き2枚折戸を示す</td><td></td><td>パランス</td><td></td></tr></table>	別表3 建具開閉表示記号				表示事項	表示記号	表示事項	表示記号	両開き		アコーディオンドア		縦子		回転		片開き		横軸		両引き		はめこらし	FIX	引違い		縦軸		片引き (I) 片面がFIXのとき		すべりだし		片引き (II)		内倒し		引違いに戸袋がある場合		外倒し		シャッター		つきだし		オーバーヘッドドア		上げ下げ		折表開は片引き2枚折戸を示す		パランス	
別表3 建具開閉表示記号																																																							
表示事項	表示記号	表示事項	表示記号																																																				
両開き		アコーディオンドア																																																					
縦子		回転																																																					
片開き		横軸																																																					
両引き		はめこらし	FIX																																																				
引違い		縦軸																																																					
片引き (I) 片面がFIXのとき		すべりだし																																																					
片引き (II)		内倒し																																																					
引違いに戸袋がある場合		外倒し																																																					
シャッター		つきだし																																																					
オーバーヘッドドア		上げ下げ																																																					
折表開は片引き2枚折戸を示す		パランス																																																					
4	展開図の尺度	<p>展開図について、詳細図相当 (1/30又は1/50) で表現する必要がない場合、一般図相当 (1/100) で作成する。</p> <p>事務室1-1</p> <p>事務室1-1_展開図A面 S=1:100</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 4.2 図面等の順序、名称等 (図中赤枠部分)</p> <p>一般図等の作成に用いたBIMモデルを利用して展開図を作成する場合、文字、記号等を、詳細図相当の尺度でも視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。</p> <table><tr><td>15</td><td>平面・断面・部分詳細図</td><td>○</td><td>1/30又は1/50</td><td>1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる</td></tr><tr><td>16</td><td>展開図</td><td>○</td><td>1/30又は1/50</td><td>詳細図と組み合わせることができる。</td></tr><tr><td>17</td><td>天井伏図</td><td>○</td><td>1/100又は1/200</td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>建具位置図</td><td>○</td><td>1/100又は1/200</td><td>平面図と組み合わせることができる。</td></tr></table>	15	平面・断面・部分詳細図	○	1/30又は1/50	1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる	16	展開図	○	1/30又は1/50	詳細図と組み合わせることができる。	17	天井伏図	○	1/100又は1/200		18	建具位置図	○	1/100又は1/200	平面図と組み合わせることができる。																																
15	平面・断面・部分詳細図	○	1/30又は1/50	1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる																																																			
16	展開図	○	1/30又は1/50	詳細図と組み合わせることができる。																																																			
17	天井伏図	○	1/100又は1/200																																																				
18	建具位置図	○	1/100又は1/200	平面図と組み合わせることができる。																																																			

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等											
5	躯体切断面	<p>伏図及び軸組図における躯体の切断面について、塗りつぶしにより表示する。</p> 	<p>建築工事設計図書作成基準 3.3 線、別表 2 材料構造表示記号 (図中赤枠部分)</p> <p>躯体の切断面について、複数の構造部材を包絡するように強調して表示するための設定は困難な場合がある。</p> <p>(4) 塗りつぶし及びスマッシングは、図面をマイクロフィルム化等した場合に判読が困難となるため行わない。</p> <table><tr><th rowspan="2">表示事項</th><th colspan="3">表示事項</th></tr><tr><th>縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合</th><th>縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合</th><th>原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合</th></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	表示事項	表示事項			縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合	縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合	原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合	鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート			
表示事項	表示事項													
	縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合	縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合	原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合											
鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート														
6	開口部の表示記号	<p>開口について、伏図、軸組図に表示しないこととし、軸組図では壁を塗りつぶしにより表示する。</p>  <p>■伏図</p>  <p>■軸組図</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 3.3 線</p> <p>建築工事設計図書作成基準の資料</p> <p>資料 2. 図面への記載事項(22)、(23) (図中赤枠部分)</p> <p>開口部には部材を配置していないため、開口表示をするための設定は困難である。</p> <p>(4) 塗りつぶし及びスマッシングは、図面をマイクロフィルム化等した場合に判読が困難となるため行わない。</p> <table><tr><td>床版 (スラブ)</td><td>位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法</td><td>接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。 躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。</td></tr><tr><td>壁 開口</td><td>位置、形状及び寸法</td><td>躯体開口寸法を記載する。 ※開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。</td></tr></table>	床版 (スラブ)	位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法	接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。 躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。	壁 開口	位置、形状及び寸法	躯体開口寸法を記載する。 ※開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。					
床版 (スラブ)	位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法	接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。 躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。												
壁 開口	位置、形状及び寸法	躯体開口寸法を記載する。 ※開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲 (鉛直及び水平方向) を記載する。												

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等																												
7	吹出口等の 図示記号	<p>機器の周囲にある複数の矢印表示を省略する。</p> <table><tr><th>名称</th><th>記号</th><th>備考</th></tr><tr><td>吹出口</td><td></td><td>(壁付き) (天井付)</td></tr><tr><td>吸込口</td><td></td><td>(壁付き) (天井付)</td></tr></table>	名称	記号	備考	吹出口	  	(壁付き) (天井付)	吸込口	  	(壁付き) (天井付)	<p>公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 図示記号 機器及び材料(図中赤枠部分)</p> <p>機器の周囲に複数の矢印を表示する設定は困難である。</p> <table><tr><th>種 別</th><th>記 号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>吹出口 (壁付き)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>同上 (天井付き 及び床付き)</td><td></td><td>特殊な形状のものは、これに準じて記入</td></tr><tr><td>吸込口 (壁付き)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>同上 (天井付き)</td><td></td><td>特殊な形状のものは、これに準じて記入</td></tr></table>	種 別	記 号	備 考	吹出口 (壁付き)			同上 (天井付き 及び床付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入	吸込口 (壁付き)			同上 (天井付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入				
名称	記号	備考																													
吹出口	  	(壁付き) (天井付)																													
吸込口	  	(壁付き) (天井付)																													
種 別	記 号	備 考																													
吹出口 (壁付き)																															
同上 (天井付き 及び床付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入																													
吸込口 (壁付き)																															
同上 (天井付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入																													
8	ダンパーの 図示記号	<p>BIMソフトウェアに設定された記号で表示する。</p> <table><tr><th>名称</th><th>記号</th></tr><tr><td>風量調節ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>モーターダンパー</td><td></td></tr><tr><td>逆流防止ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>防火ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>排煙ダクト接続の防火ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>防煙ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>排煙ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>防火防煙ダンパー</td><td></td></tr><tr><td>ピストンダンパー</td><td></td></tr><tr><td>防火ピストンダンパー</td><td></td></tr></table>	名称	記号	風量調節ダンパー		モーターダンパー		逆流防止ダンパー		防火ダンパー		排煙ダクト接続の防火ダンパー		防煙ダンパー		排煙ダンパー		防火防煙ダンパー		ピストンダンパー		防火ピストンダンパー		<p>公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 図示記号 機器及び材料(図中赤枠部分)</p> <table><tr><th>種 別</th><th>記 号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>ダンパー</td><td></td><td>次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SD 防煙ダンパー：SFD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD</td></tr></table>	種 別	記 号	備 考	ダンパー		次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SD 防煙ダンパー：SFD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD
名称	記号																														
風量調節ダンパー																															
モーターダンパー																															
逆流防止ダンパー																															
防火ダンパー																															
排煙ダクト接続の防火ダンパー																															
防煙ダンパー																															
排煙ダンパー																															
防火防煙ダンパー																															
ピストンダンパー																															
防火ピストンダンパー																															
種 別	記 号	備 考																													
ダンパー		次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SD 防煙ダンパー：SFD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD																													